

官報

號外

明治三十七年十二月二十一日 水曜日

印刷局

○第二十一回衆議院議事速記録第六號

明治三十七年十二月二十日(火曜日)午後一時五十分開議

議事日程 第五號 明治三十七年十二月二十日

午後一時開議

- 第一 實用新案法案(政府提出) 第一讀會
- 第二 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 第一讀會
- 第三 海軍工廠資金會計法案(政府提出) 第一讀會
- 第四 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 第一讀會
- 第五 竊病豫防法案(政府提出) 第一讀會
- 第六 古社寺保存法第十六條ニ依リ國庫ヨリ支出スヘキ金額ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會
- 第七 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 第一讀會
- 第八 在外國帝國專管居留地特別會計法中改正法律案(政府提出) 第一讀會
- 第九 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 第一讀會
- 第十 煙草專賣局及製鐵所据置運轉資本補足ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會
- 第十一 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 第一讀會
- 第十二 明治三十五年法律第四十九號中改正法律案 第一讀會
- 第十三 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 第一讀會
- 第十四 北海道官設鐵道用品資金會計法廢止法律案(政府提出) 第一讀會
- 第十五 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 第一讀會
- 第十六 國債證券及貯蓄債券ノ利子所得稅免除ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會
- 第十七 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 第一讀會
- 第十八 國債證券價格計算ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會
- 第十九 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 第一讀會
- 第二十 郵便貯金法案(政府提出) 第一讀會
- 第二十一 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 第一讀會
- 第二十二 明治三十七年勅令第七十七號(承諾ヲ求ムル件)(政府提出) (委員長報告) 第一讀會
- 第二十三 市制町村制中改正法律案(福井三) 第一讀會
- 第二十四 商業會議所法中改正法律案(井上角六) 第一讀會
- 第二十五 水利組合條例中改正法律案(飯島省三) 第一讀會
- 第二十六 未成年者飲酒禁止法案(根本正外) 第一讀會
- 第二十七 未成年者飲酒禁止法案(根本正外) 第一讀會

官報號外

明治三十七年十二月二十一日(明治三十五年第三種郵便物認可)

衆議院議事速記録第六號 議長ノ報告

七七

- 第二十八 災害地地租免除ニ關スル法律案(武富時敏外) 第一讀會
- 第二十九 災害地地租免除ニ關スル法律案(中西新外) 第一讀會
- 第三十 鐵道ノ連絡輸送ニ關スル建議案(菊池武) 第一讀會
- 第三十一 バルガン半島諸國ト締約シ外交官派遣ニ關スル建議案(松本君) 第一讀會
- 第三十二 (特別報告第一號)所得稅法中改正ノ請願(委員長報告)
- 第三十三 (特別報告第二號)旱害地租特別免除ノ請願(委員長報告)
- 第三十四 (特別報告第三號)葉煙草賣買專業者交付金下附ノ請願(委員長報告)

○議長(松田正久君) 開會致シマス、諸般ノ報告ヲ致シマス
(書記朗讀)
政府ヨリ左ノ議案ヲ提出セラレタリ
實用新案法案
海軍工廠資金會計法案
竊病豫防法案
古社寺保存法第十六條ニ依リ國庫ヨリ支出スヘキ金額ニ關スル法律案
在外國帝國專管居留地特別會計法中改正法律案
煙草專賣局及製鐵所据置運轉資本補足ニ關スル法律案
明治三十五年法律第四十九號中改正法律案
北海道官設鐵道用品資金會計法廢止法律案
國債證券及貯蓄債券ノ利子所得稅免除ニ關スル法律案
國債證券價格計算ニ關スル法律案
郵便貯金法案

- (第一號)明治三十七年度歳入歳出總豫算追加案
(特第一號)明治三十七年度各特別會計歳入歳出豫算追加案
(追第一號)豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件
(第二號)明治三十八年度歳入歳出總豫算追加案
(特第二號)明治三十八年度各特別會計歳入歳出豫算追加案
(追第二號)豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件
議員ヨリ左ノ議案ヲ提出セラレタリ
災害地地租免除ニ關スル法律案
提出者 中西 新作君 山口 小一君
バルガン半島諸國ト締約シ外交官派遣ニ關スル建議案
提出者 松本 君 平君
水利組合條例中改正法律案
提出者 齋藤 良輔君 國井 庫君
神藤才一君ヨリ文部大臣ノ答辯ニ對スル再質問主意書ヲ提出セラレタリ
(左ノ質問書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)

文部大臣ノ答辯ニ對スル再質問書
右成規ニ據リ提出候也
明治三十七年十二月二十日
提出者 神藤 才一

贊成者 花井 卓藏
外二十九名

文部大臣ノ答辯ニ對スル再質問主意書

曩ニ本員等ノ提出シタル質問ニ對シ文部大臣ノ答辯アリタルモ本員ノ聞ク所ニ依レハ教育總會ニ於ケル文部大臣ノ演說中ニハ左ノ文言アリ

現今我國ノ政治機關特ニ行政司法ノ部面ニ於テハ新教育ヲ受ケタル大學出身者ヲ以テ之ヲ運用シツ、アリ若シ我國ノ社會ヨリ此等ノ新智識ヲ排除セハ國家ハ暗黒ノ一怪物タランノミ獨リ遺憾ナルハ立法部ニ於テ這般新智識ノ寂々寥々タルコト是ノミ

右ノ演說ハ帝國威信ヲ毀損シ併セテ帝國議會ヲ侮辱シタルモノト認メタルヲ以テ其ノ言實ニ對シ更ニ質問ニ及候也

○議長(松田正久君) 諸君ニ御諮リヲ致シマスガ、内藤利八君ヨリ父病氣看護ノタメ、明二十一日ヨリ二週間ノ請假ヲ申出ニナリマシタ、又石川清君ヨリ病氣療養ノタメ、明二十一日ヨリ二週間ノ請假ヲ申出ニナリマシタ、此兩君ノ請假ニ付イテ御異議ガナケレバ、許シテハ如何デアリマス

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(松田正久君) 然ラバ御異議ナキモノト致シテ、許スコトニ致シマス——武藤金吉君ノ質問演說ガアリマス——武藤金吉君

(武藤金吉君登壇)

○武藤金吉君(九十一番) 渡良瀬川沿岸地方特別地價修正ハ、二十議會ニ於キマシテ、通過ヲ致シマシテ施行セラレマシタ、其法律施行ノ結果ハ、甚ダ杜撰不公平デゴザイマシテ、唯杜撰不公平ナルノミナラス、遺漏ノ多キコトハ著シキコトデゴザイマシテ、群馬、埼玉、栃木、茨城四縣、八郡、六十八箇村ニ於テ、點々遺漏致シテ、此上流ガ修正セラレテ、其次ガ修正セラレナイ、其次ガ修正セラレテ居ル、ソレカラ水場ガ修正セラレテ居ル、渡良瀬川三河等ノ關係ノ水場ガ修正セラレテ居ル、御承知ノ通此遺漏被害地ハ一府五縣ニ互リマシテ、官民兩有地デ二十万町歩遺漏ノ被害ガゴザイマスノデ、其中明治二十九年ニ遺漏被害地ノ免租地ヲ、政府ガ此荒地免租ト稱シマシテ、大隈内閣ノトキデゴザイマシタガ、免租ヲ行ヒマシタコトガゴザイマス、此當時ニハ二万四千六百町歩——不完全ノ調査ヲ以テ免租サレマシタモノデゴザイマス、然ルニ渡良瀬沿岸地方特別地價修正ト云フ、法律施行ノ結果ト致シマシテハ、僅ニ一万二千五百六十八町歩九段シカ、修正ガ出來ナイノデ、當時本員ハ委員ノ一人トシテ、是ガ審査ヲ致シマシタ、此法律案ハ宅地、山林、沼、池、原野等ガ混入シテ居リマセヌ、是ガ混入シテ居ラヌハ、ドウ云フ譯デアアルカ、政府委員ニ質問致シマシタコトコガ、政府委員ハ短時日ノ臨時議會デアアルカラ、之ヲ入レルコトガ出來ナカッタト云フノデアリマス、是ハ出來ナイモノト致シマシテモ、此二十一議會ニハ是ハ出ルコト、思ヒマス、法律ノ改正案乃至ハ追加デモ入レルコト、思ヒ居リマシタガ、何ゾ圖ラシ此僅ニ點々遺漏シテ少々バカリノ地價修正ガ、出來タニ止マラナイ、ソレカラドウ云フ風ニ修正ヲサレデアアルコト申シマスレバ、政府委員ノ說明スルトコロニ依レバ、政府ノ審査ノ方法、調査ノ方法、所謂遺漏調査會ノ調査ノ結果デヤッタモノデアラ、土壤分析ノ結果、坪均ノ結果トニ依ッテ、之ヲ行ッタモノデアアルサウデス、然レドモ此坪均ノ結果、土壤ノ分析ノ結果ハ、イヅレノ町村、イヅレ

ノ處ニ行ッタモノデアアルカ、私共ノ承知スルトコロニ依リマスレバ、恐ラクハ机ノ上デヤッタノデハナイカ——大藏省ノ机ノ上デヤッタノデハナイカ、農商務省ノ机ノ上デヤッタノデハナイカト信ジマス、是ノ如キ調査ガ行ハレテ居リマシテ、實ニ此法律ノ目的、負擔ノ公平ヲ計ルタメニ、此法律ヲ出シテ、地價ヲ修正スルトコロノ趣意ニ適ハヌハ、如何デアアルカ、是ハ當局大臣ノ答案ヲ煩ハシタイ一箇條デアリマス、ソレカラ其他土壤ノ分析ニ依リマシテモ、私共ガ土壤ノ分析ヲ致シマシタ結果デ、此質問主意書ニ書イテアリマスガ、茲デ述ベルコトハ煩雜デアリマスカラ是ハ略シマス、其他遺漏ノ有害地無害地ト云フモノハ、何等ノコロニ依ッテ區別ヲ致スモノデアリマス、遺漏ノ有害無害ト云フコトハ、此專門學者ノ說ニ依レバ、一万分ノ一乃至百万分ノ一アリマスレバ、既ニ植物ヲ枯死セシメルト云フコトハ、證明ガ出テ居ルニモ拘ハラズ、此無害地トシテ修正ノ出來ナイ處ハ、十万分ノ二百四十一乃至十万分ノ九百十七、ソレカラ十万分ノ二千三百六十九、此銅毒分ヲ含著シテ居ルデアリマス、是ノ如キ多大ノ毒ヲ含シテ居ル處ガ、少シモ修正ニナテ居ナイト云フハ、誠ニ怪訝ニ堪ヘナイ次第デアリマス、此等ハ如何ナル調査ノ方法ニ依ッテ、此修正ガ出來タモノデアアルカ、其他此地ノ高低——高低クガ十五尺モアル村デアリマシテ、一番高イ絶頂ノ部分ノ十五尺ノ地ガ修正ガ出來テ居ッテ、一番低イ、十五尺ノ所ノ地ガ修正ガ出來ナイトコロモアリマス、其他四周皆出來テ居リマシテ、其中ガ出來テ居ラヌ、又甲ノ村デ修正ガ出來テ居ッテ、乙ノ村ニ飛地ガアッテ、其飛地ガ出來テ居ナイ其出來テ居ナイ乙ノ村ノ飛地ガ、甲ノ村ニアッテ、又ソレガ出來テ居ラヌト云フヤウニ、實ニドナタガ見デモ、不公平至極ノ結果ニナッテ居リマス、此等ハ政府ハ此法律施行ノ目的ニ於キマシテ、何ヲ標準ニ何ヲ以テ此負擔ノ公平ヲ計ル積リデアリマス、事實ハ是ノ如クデアリマシテ、詳シク申述ベマスルノモ、本議ノ御邪魔ニナリマスカラ、要點デケラ私ハ茲ニ申上ケテ置キマスガ、政府ハ何ヲ以テ負擔ノ公平ヲ圖リ積リデアアルカ、又遺漏被害地ヲ如何ニ之ヲ見デ居ルカ、其他山林ノ濫伐ヤ河川ノコトニ就キマシテモ、意見ガゴザイマスガ、是ハ單ニ法律施行ノ質問趣意デアリマスカラ、是ダケニシテ置キマス

○議長松田正久君 神藤才一君ノ再質問演說ガアリマス

(神藤才一君登壇)

○神藤才一君(二百七十九番) 諸君、本員ハ既ニ提出シ置キマシタル質問ノコトニ付キマシテ、唯今一言以テ諸君ノ御清聴ヲ仰ギタイコトガアリマス、其事タルヤ、今日寢食ヲ忘レ、東西ニ奔走シテ居ルコロノ國民、及其代表者タル吾々立法部ニ對シ、國家教育ヲ掌ルトコロノ文部大臣其者、即チ學識及人格ヲ鑑定ラ下サル、トコロノ、文部大臣其者ガ、吾々立法者ニ對シテ暗黒ノ怪物ナリト鑑定セラレタルニ付イテ、吾々立法部ハ果シテ其怪物ノ代表者ニシテ、殆ド怪物ノ集合シタルモノナリヤニ付イテノ問題デアリマス、併シ諸君、斯レ質問ハ、今日此時局ニ當リ實ニ提出スベキアラザルベシトハ信ゼシモ、又翻テ之ヲ一考セバ、今日ノ此大時局ナレバコソ、尙一言ヲセザルヲ要セザルコト故ニ、之ヲ提出シタル譯デアリマス、即チ久保田文部大臣ノ去ル十二月十日ノ帝國教育會ニ於ケル演說是ナリ、茲ニ其一證據タル諸新聞中ノ一二ヲ示シマスレバ、先ヅ吾々ガ最モ尊信スル池邊吉太郎君ノ主筆ニ係ル東京朝日ヲ首トシテ東京日々、時事新報其他最モ信ズルコロノ新聞ニ於テ、殆ド同筆異文ヲ以テ、久保田大臣ガ帝國教育會第二十一回總會ニ於テ、教育ノ效果ト題シ、教育ノ教育界ニ及ボシタル效果、教育ノ社會ニ及ボシタル效果等ヲ述ベマシタ際ニ至リ是ノ如キコトヲ申サレタコトガ記シタル、即チ證據ハ是デゴザイマス、併シ諸君、一番聲ヲ厲聲シテ言ハレタサウデス(笑聲起ル)確カニ聞イタ者ガアル、現今我國ノ政治機關殊ニ行政司法ノ部面ニ於テ、新智育ヲ受ケタル大學出身者ヲ以テ之ヲ運用シツ、アリ、若シ我國ノ社會ヨリ是等ノ新智

カ(笑聲拍手起ル)我陸海軍人ハ其屍ヲ風雪風波ノ間ニ曝シ、國民ハ熱血ヲ絞テ東西ニ狂奔シアル眞最中デアルニモ拘ハラズ、國ノ柱石タル内閣諸公ノ、其一人タル久保田文部大臣ハ、其國民及是ガ代表者タル吾ミ、立法部ニ對シテ、公會中ニ於ケル化物呼ハリ、怪物呼バリヲ「ハンハロン」即チ太平樂ナル言語ハ、男子タル者ノ決シテ聞捨置クベキモノナルヤ、諸君、決シテ容赦スベキモノデナイト、本員ハ思フノデアアル(喝采起ル)殊ニ諸君、一刻モ忽ニスベカラザル今日、此大時局ニ當リ、久保田大臣ガ所謂怪物タル吾ミ、議員ハ、如何ニシテ重要ナル今日ノ議事ヲ進行スベキヤ、斯ル言語モ久保田氏個人ノ言ニシテ、醉狂ノ餘リ放言セラレタリトセバ止マンモ、而モ堂々タル帝國教育大家ノ集合セル公會ニ於テ、大臣久保田讓氏ノ口ヨリ出タルハ、實ニ奇怪千萬ニ堪ヘザル所以デアアル、實ニ國民ノ代表者タル吾ミ、立法部ヲシテ、闇黒ノ怪物ナリトセバ、最早現内閣諸公ハ此怪物タル吾ミト、天下ノ大事ヲ協議スルノ必要モアリマスマイ、然ルヲ若シ此怪物ノ吾ミ、立法部ト國家重要ノ立法ヲ議シ、以テ之ヲ我國法トセバ、外、列國ノ感覺ハ如何、是レ即チ此戰中戰後ニ於ケル諸行爲ハ、怪物野蠻ノ行爲トシテ、彼等歐米人ヨリ殆ドゼロ視セラレ、モ、亦止ムヲ得ザル次第ニ立至ラン、是レ本件ノ眞意ヲ解セバ、以上ノ如クナレドモ、諸君、一見ハ實ニ平易ニシテ、極メテ馬鹿ヲシキ問題ノ如ク諸君ハ思召サル、カ知ラザレドモ(ノウノ)ト呼フモノアリ、實ニ吾ミ、議員トシテハ、最モ重大ナル問題ナラント信ズルノデアアル、故ニ久保田大臣閣下ニハ、速カニ登壇シ最モ唯今出席ヲ促シマシタケレドモ、故障ガアテ御出掛ニナリマセヌ、是非尙是ガ答辯ヲ與ヘラレンコトヲ希望スルノデアアル、從來政府ノ答辯ハ一片不得要領ナル答辯書ヲ以テセラル、カ、一ノ慣例ノ如クナレドモ、本件ハ實ニ議會ニ對スル重大且ツ議事進行上ニ、一大關係ヲ有スルヲ以テ、是非共大臣自ラ速ニ出席シ、更ニ十分ナル答辯アラレヨ、併シ或ハ大臣ハ答ヘン、曰ク質問者ノ探デ據ルトコロノモノハ、單ニ新聞紙上ノ一記事ニシテ、實ニ質問ノ價值ガナイ、抑、大臣タル者ニ對スル質問ハ、決シテ是ノ如キ薄弱一片ノモノニアラザルナリ、ト斯ク御答ニナルヂヤラウト思フガ、若シ果シテ然ラバ余ハ謂ハン、新智識ノ今日此文明ノ世、即チ久保田式新智識ノ世ニ於テ、社會人心ヲ動搖セシメ又之ヲ信服セシムルモノハ、獨リ新聞ヨリ甚シキハナシ、是レ久保田大臣ノ定メテ御承知アルコト、本員ハ確ク信ジテ疑ハザルトコロデアアル、抑、歐米諸新聞紙上ニ於テ、一度言論或ハ世論ヲ公ニシタルトキハ、社會ノ人心ヲ動搖シ或ハ是ガタメニ内閣ヲモ轉覆セシムルニ至ル、況ヤ我國新聞紙中最モ錚々タル東京朝日、東京日、時事新報等ノ紙上ニ於テ、滔々ト列記シアル記文ニ於テオヤ、殊ニ當春第二十回議會ニ於テ、秋山定輔君ニ對スル露探事件モ、亦新聞紙上等ノ記事ヲ其一證據トシニアラズヤ、又秋山定輔君ガ議員ヲ辭セラレタルモ、亦新聞記事ノ責任ヲ以テセラレタルニアラズヤ、是レ帝國議會ガ是ノ如ク新聞紙上ノ記事ニ倚信セラレ、コトハ、前例ニ依ツテ明カデアリマス、是レ議會及大臣等ノ確信セラル、コト、本員ハ信ズルノデアアル、若シ又久保田大臣ニシテ、我諸新聞ノ記事ハ虛言誤聞ナリトセバ、何故ニ久保田大臣ハ是ガ取消ヲ請求セザリシヤ、然ルニ其記事ノ取消モナク、今日マデ氣樂ニモ打捨テ置カル、ハ、何故ゲヤ、尤モ久保田大臣ハ自身ニ我國民及其立法部ニ對シテ、怪物或ハ殆ド新智識ナキトコロノ化物物呼バリノコトハ、毫モ之アラザリシナリト、假令辯明セラル、ニセヨ、我國諸大新聞ノ記事ハ如何、若シ此記事ニシテ一度歐米各國ノ諸新聞ニ公ケニセラレタルトキハ、歐米各國ノ人民ノ我國家ニ對スル考察ハ如何、是レ本員ガ前段ニ喋々セシ所以デアアル、是レ我國國民及是ガ代表者タル吾ミ、立法部ノ威信ト、國家ノ體面ヲ毀損スル、一大重要ナルコトニアラザルカ、是等ノコトハ久保田文部大臣ニハ、如何思召サル、ノデアアリマセウカ、願ハクハ是等辯明ヲ十分ニセラレンコトヲ請フノデアアル、尙現任文部大臣久

第二十一條 實用新案登録ノ出願アリタルトキハ特許局長ハ特許局審査官ヲシテ之ヲ審査セシムヘシ

第二十二條 特許局審査官ニ於テ査定ヲ爲シタルトキハ特許局長ハ其ノ査定ヲ出願人ニ送付スヘシ

第二十三條 特許局審査官ハ第二條及第十八條ノ規定ニ該當スルヤ否ニ付審査スヘシ但シ第一條ノ規定ニ該當セサルコトヲ發見シタルトキハ之ヲ理由トシテ登録拒絕ノ査定ヲ爲スヘシ

第二十四條 登録拒絕ノ査定ヲ受ケタル者之ニ不服ナルトキハ其ノ送付ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ特許局長ハ前審査ニ關與セサル特許局審査官前項ノ請求アリタルトキハ特許局長ハ前審査ニ關與セサル特許局審査官前項ノ請求アリタルトキハ特許局長ハ前審査ニ關與セサル特許局審査官

第二十五條 第三十八條及第三十九條ノ規定ハ審査ニ之ヲ準用ス

第二十六條 登録スヘシトノ査定ヲ受ケタル者其ノ送付ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ登録ヲ請求スルコトキハ特許局長ハ其ノ實用新案ヲ登録シ登録證ヲ下付スヘシ

第二十七條 實用新案ノ登録ヲ請求スル者ハ一實用新案ニ付一物品毎ニ登録料金十五圓ヲ納ムヘシ

第二十八條 實用新案ニ關スル登録ハ實用新案原簿ニ之ヲ爲スヘシ

第二十九條 登録實用新案ニ關スル書類ノ謄本、登録證ノ複本、證明、圖面ノ謄本又ハ書類ノ謄本ヲ要スル者ハ其ノ事由ヲ疎明シ之ヲ特許局ニ請求スルコトヲ得但シ秘密ヲ要スルモノハ此ノ限ニ在ラス

第三十條 特許局ハ實用新案公報ヲ發行スヘシ

第四十條 審判及出訴

第三十一條 登録實用新案カ第一條第二條又ハ第十八條ノ規定ニ違フモノナルコトヲ發見シタル者ハ特許局ニ無効ノ審判ヲ請求スルコトヲ得

第三十二條 登録實用新案カ互ニ撞著スルヤ否又ハ登録實用新案ト實用新案ノ審判ヲ請求スルコトヲ得

第三十三條 審判ノ請求ハ審判請求書ヲ差出シテ之ヲ爲スヘシ審判請求書ニハ一定ノ申立及理由ヲ記載スルコトヲ要ス

第三十四條 特許局ニ於テ審判請求書ヲ受理シタルトキハ其ノ副本ヲ被請求人ニ送付シ相當ノ期間ヲ指定シ答辯書ヲ差出サシムヘシ

第三十五條 審判ハ審判官三人又ハ五人ノ合議ニ依リ之ヲ行ヒ審判官中一人ヲ審判長トス

第三十六條 審判長ハ職權又ハ當事者ノ申立ニ依リ口頭審理ヲ爲スコトヲ得

口頭審理ハ之ヲ公開ス但シ安寧秩序又ハ風俗ヲ紊ルノ虞アルトキハ此ノ限ニ在ラス

第三十七條 審判請求人又ハ被請求人成規又ハ指定ノ期間内ニ答辯書又ハ辯駁書ヲ差出サス其ノ他指定ノ手續ヲ爲サス又ハ口頭審理期日ニ出頭セサルトキハ審判長ハ直ニ審判ヲ終結スルコトヲ得

第三十八條 審判ニ關シ必要アルトキハ特許局ハ職權又ハ當事者ノ申立ニ依リ證據調ヲ爲シ且當事者ノ申立サル事實ヲ斟酌スルコトヲ得

第三十九條 證據調ニ付テハ民事訴訟法中證據調ニ關スル規定ヲ準用ス但シ特許局ニ於テ爲ス證據調ニ關シテハ罰金ノ言渡ヲ爲シ又ハ勾引ヲ命スルコトヲ得

第四十條 審判ニ關スル費用ノ負擔ハ終局審決ニ依リ之ヲ定ム

第四十一條 審決アリタルトキハ特許局長ハ之ヲ當事者ニ送付スヘシ

第四十二條 終局審決ニ對シ不服アル者ハ其ノ審決ヲ法律ヲ適用セス又ハ不當ニ適用シタルコトヲ理由トスルコトキニ限り審決ノ送付ヲ受ケタル日ヨリ六十日以内ニ大審院ニ出訴スルコトヲ得

前項ノ出訴及裁判ニ付テハ民事訴訟法中上告及其ノ裁判ニ關スル規定ヲ準用ス

第四十三條 大審院ニ於テ出訴ヲ理由アリトスルコトキハ原審決ヲ破毀シ更ニ審判ヲ爲サシムル爲メ事件ヲ特許局ニ差戻スヘシ

第四十四條 民事又ハ刑事ノ訴訟ニ付實用新案權ニ關シ爭アル場合ニ於テ裁判所ハ第三十一條又ハ第三十二條ノ請求ニ依リ審決ノ確定ニ至ル迄其ノ訴訟ヲ中止スルコトヲ得

第四十五條 審判及出訴ノ費用額ニ關シテハ民事訴訟費用法ヲ準用シ特許局長請求ニ依リ之ヲ決定ス

前項ノ決定ハ強制執行ニ關シテハ公證人ノ作リタル債務名義ト看做ス但シ其ノ執行力アル正本ハ特許局官吏之ヲ付與ス

第五章 罰則

第四十六條 實用新案ノ登録ヲ受ケタル物品ヲ偽造、模造シ又ハ偽造品、模造品ヲ販賣、擴布若ハ使用シタル者ハ十五日以上一年以下ノ重禁錮又ハ十圓以上二百圓以下ノ罰金ニ處ス

實用新案ノ登録ヲ受ケタル物品ト同一又ハ類似ノモノナルコトヲ知り之ヲ外國ヨリ輸入シタル者ハ罰金同シ

本條ノ犯罪ハ實用新案權者ノ告訴ヲ待テ其ノ罪ヲ論ス

第四十七條 前條ノ場合ニ於テハ其ノ偽造品、模造品、輸入品ハ之ヲ沒收シ實用新案權者ニ給付ス

第四十八條 詐偽ノ物品ヲ以テ實用新案ノ登録ヲ受ケタル者又ハ實用新案ノ登録ヲ受ケタル物品又ハ其ノ包裝上ニ實用新案登録ノ標記ヲ附シ若ハ之ニ紛ハシキ表示ヲ爲シタル者又ハ情ヲ知リテ其ノ物品ヲ販賣シタル者ハ十五日以上六月以下ノ重禁錮又ハ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス

實用新案ノ登録ヲ受ケタル物品ヲ販賣又ハ擴布スル爲メ廣告、看板、引札等ニ於テ實用新案登録品タルニ紛ハシキ表示ヲ爲シタル者ハ罰金同シ

第四十九條 證人、鑑定人又ハ通事ニシテ特許局又ハ其ノ囑託ヲ受ケタル區裁判所又ハ臺灣地方法院其ノ他裁判事務ヲ行フ官廳ニ對シ偽證又ハ詐偽ノ陳述ヲ爲シタルトキハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

賄賂其ノ他ノ方法ヲ以テ人ニ囑託シ偽證又ハ詐偽ノ陳述ヲ爲サシメタル者ハ罰金同シ

前二項ノ罪ヲ犯シタル者其ノ事件ノ査定又ハ審決ニ至ラサル前特許局又

ハ其ノ囑託ヲ受ケタル區裁判所又ハ臺灣地方法院其ノ他裁判事務ヲ行フ
官廳ニ自首シタルトキハ本刑ヲ免ス
第五十條 特許局ヨリ證人、鑑定人又ハ通事トシテ呼出サレタル者正當
ノ理由ナクシテ呼出ニ應セス又ハ其ノ義務ヲ盡ササルトキハ四圓以上四
十圓以下ノ罰金ニ處ス

附則

第五十一條 本法ハ明治三十八年七月一日ヨリ之ヲ施行ス
第五十二條 左ノ場合ニ於テハ發明特許又ハ意匠登錄ノ出願ヲ爲シタル日
ヲ以テ第十四條及第十八條ノ適用上實用新案ノ登錄出願ノ日ト看做ス

一 本法施行前ノ一箇年以内ニ於テ發明特許又ハ意匠登錄ヲ出願シ本法施
行前特許スヘカラス又ハ登錄スヘカラストノ査定ヲ受ケタル者本法施
行後三十日以内ニ其ノ發明又ハ意匠ニ係ル物品ニ付實用新案ノ登
録ヲ出願シタルトキ
二 本法施行前發明特許又ハ意匠登錄ヲ出願シ本法施行後ニ於テ特許ス
ヘカラス又ハ登錄スヘカラストノ査定ヲ受ケタル者其ノ査定ノ送付
ヲ受タル日ヨリ三十日以内ニ其ノ發明又ハ意匠ニ係ル物品ニ付實用
新案ノ登錄ヲ出願シタルトキ

○議長(松田正久君) 發言者ナケレバ議事日程、第二ノ委員選舉ヲ議題ト致シマス

第二 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○恆松隆慶君(百五十九番) 是ハ九名ノ委員ヲ、議長指名ニ願ヒマス
○議長(松田正久君) 恆松君動議ノ如ク、議長指名ノ委員ニ付託スルコトニ、贊成
ガアリマス

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(松田正久君) 異議ナケレバ恆松君動議ノ如ク決シマス——議事日程第三
海軍工廠資金會計法案ノ第一讀會ヲ開キマス、議案ノ朗讀ヲ省略シマス

第三 海軍工廠資金會計法案(政府提出)

第一讀會

海軍工廠資金會計法案

第一條 海軍造船及造兵ノ工廠ニ於ケル材料物品貯蓄ノ資本トシテ海軍工
廠資金ヲ置キ特別ノ會計ヲ立テシム

第二條 海軍工廠資金ハ明治三十八年三月三十一日現在スル所ノ海軍造船
材料資金及海軍造船兵材料資金ヲ以テ之ニ充テ毎年第六條ノ過剩金ニ相當
スル金額ヲ加ヘ漸次増加シテ九百五十萬圓トス

第三條 海軍工廠資金會計ニ屬スル材料物品ヲ使用スルトキハ海軍省所管
經費ヲ以テ之ヲ購入スヘシ此ノ場合ニ於テハ前金拂フ爲メスコトヲ得

第四條 海軍工廠資金ヲ以テ貯蓄シタル材料物品ノ損減ハ豫メ歩合ヲ定メ
テ材料物品ノ原價ニ加算スヘシ

第五條 海軍工廠ノ事業ニ使用シタル材料ノ殘材殘屑艦船取外シ物品廢船
舟及廢兵器ニシテ更ニ材料トシテ使用シ得ヘキモノハ海軍工廠資金會計
ノ材料ニ組入ルルコトヲ得

第六條 海軍工廠ノ事業ニ於テ海軍工廠資金特別會計ノ決算上該資金額ニ過剩
ヲ生スルトキハ其ノ過剩金ヲ同年一度一般ノ歳入ニ編入スヘシ

第七條 政府ハ毎年海軍工廠資金特別會計ノ歳入歳出豫算ヲ調製シ歳入歳
出ノ總豫算ト俱ニ帝國議會ニ提出スヘシ

第八條 海軍工廠資金特別會計ノ收入支出ニ關スル規程ハ勅令ヲ以テ之ヲ
定ム

附則
第九條 第二條ハ海軍造船材料資金會計法第六條及海軍造船兵材料資金會計
法第六條ノ過剩金ニ相當スル金額ニシテ未タ資金ニ増加ヲ了セサルモノ
ニモ之ヲ適用ス
第十條 本法ハ明治三十八年度ヨリ之ヲ施行ス
海軍造船材料資金會計法及海軍造船兵材料資金會計法ハ之ヲ廢止ス

○議長(松田正久君) 發言者ナケレバ議事日程第四ノ委員選舉ヲ議題ト致シマス

第四 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○恆松隆慶君(百五十九番) 是モ議長ノ指名ヲ願ヒマス
○議長(松田正久君) 恆松君ノ動議ニ異議ハアリマセヌカ

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(松田正久君) 異議ガナケレバ恆松君動議ノ如ク、議長指名ノ九名ノ委員ニ
付託スルコトニ決シマス——議事日程第五ノ第一讀會ヲ開キマス、議案ノ朗讀ヲ省略
致シマス

第五 蠶病豫防法案(政府提出)

第一讀會

蠶病豫防法案

第一條 本法ニ於テ蠶病ト稱スルハ微粒子病、軟化病、硬化病、膿病及蠶蛆
病ヲ謂フ

第二條 本法ニ於テ蠶種製造者ト稱スルハ他人ニ讓渡スノ目的ヲ以テ蠶種
ヲ製造スル者ヲ謂フ

蠶種製造者ハ命令ノ定ムル所ニ從ヒ蠶種製造ノ届出ヲ爲スヘシ此ノ届出
ヲ爲ササル者ハ蠶種製造者ト看做サス

第三條 蠶種製造者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ病蠶、蠶蛆及其ノ蛹ヲ滅殺シ其ノ他蠶
事スル者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ病蠶、蠶蛆及其ノ蛹ヲ滅殺シ其ノ他蠶
病豫防ノ爲メ必要ナル施設ヲ爲スヘシ

主務大臣ハ學術研究ノ爲メ蠶、生絲製造又ハ殺蛹乾繭ヲ爲ス者ニ對シ前
項ノ規定ヲ適用セサルコトヲ得

第四條 蠶種製造者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ蠶室及蠶具ノ消毒ヲ行フヘシ

第五條 蠶種製造者ハ檢査合格ノ原種ヨリ產出シタル繭ヲ用ウルニ非サレ
ハ蠶種ヲ製造スルコトヲ得ス

第六條 蠶種製造者ハ左ニ掲グル繭ヲ以テ蠶種ヲ製造スルコトヲ得ス
一 二層以上合同シテ作リタル繭
二 繭層片薄ナル繭又ハ形狀ヲ失スル繭
三 繭層ノ量繭ノ全量百ニ對シ一化性ニ在リテハ十、二化性ニ在リテ
ハ七、多化性ニ在リテハ六ニ達セサルモノ

四 蠶兒ノ發育不良ニシテ收繭ノ量著シク減少シタルモノ
五 蠶種製造者ハ原種ヲ飼育シタル蠶兒ヨリ產出シタル繭
第六條 蠶種製造者ハ蠶種製造用ノ蠶兒ト同一ノ飼育時期ニ於テ製絲用ノ
蠶兒ヲ飼育スルコトヲ得ス

第七條 蠶種製造者ハ行政廳ノ許可ヲ受クルニ非サレハ蠶兒ヲ讓渡シ又ハ讓受ク
ルコトヲ得ス

第八條 蠶種製造者ハ同一飼育時期ニ於テ他ノ蠶種製造者又ハ養蠶者ト同
一ノ建物又ハ蠶具ヲ共用スルコトヲ得ス

第九條 蠶種製造者ハ同一飼育時期ニ於テ他ノ蠶種製造者又ハ養蠶者ト同
一ノ建物又ハ蠶具ヲ共用スルコトヲ得ス

ニ適用ス但シ其ノ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

古社寺保存法第十六條ニ依リ毎年國庫ヨリ支出スヘキ金額ハ臨時事件ノ發
屬スル年度中之ヲ十五萬圓以下ニ下スコトヲ得

丰金

○議長(松田正久君) 發言者カナケレバ、議事日程ノ第八委員選舉ヲ議題ト致シマス

第八 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○恆松隆慶君(百五十九番) 是モ九名ノ議長指名ニ願ヒマス

○議長(松田正久君) 恆松君ノ動議ノ如ク、九名ノ議長指名ノ委員ニ付託スルコトニ、異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(松田正久君) 異議ナケレバ、恆松君ノ動議ノ如ク決定致シマス、議事日程第九在外國帝國專管居留地特別會計法中改正法律案ノ第一讀會ヲ開キマス、議案ノ朗讀ハ省略シマス

(恆松隆慶君「各案共ニ政府ノ説明ダケアラント希望致シマス」ト呼フ)

第九 在外國帝國專管居留地特別會計法中改正法律案 第一讀會

案(政府提出)
在外國帝國專管居留地特別會計法中左ノ通改正ス
第三條中「百萬圓」ヲ「百五十萬圓」ニ改ム

(政府委員阪谷芳郎君登壇)

○政府委員(阪谷芳郎君) 本案ハ從來著手致シテ居リマシタ專管居留地ノ外ニ、尙清國ノ内ニ於キマシテ、專管居留地ノ經營ニ著手致シマスル必要上、五十萬圓ノ増加ヲ求メマスルト云フ法律デゴザイマス

○議長(松田正久君) 發言者ナケレバ、議事日程第十右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員選舉ヲ議題ト致シマス

第十 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○恆松隆慶君(百五十九番) 是モ九名ノ委員ヲ、議長指名ニ願ヒマス

○議長(松田正久君) 恆松君ノ動議ノ如ク、議長指名ノ九名ノ委員ニ付託スルコトニ、御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(松田正久君) 御異議ガナケレバ、恆松君ノ動議ノ如ク決定致シマス、議事日程第十一煙草專賣局及製鐵所据置運轉資本補足ニ關スル法律案ノ第一讀會ヲ開キマス、議案ノ朗讀ハ省略シマス—— 阪谷政府委員

第十一 煙草專賣局及製鐵所据置運轉資本補足ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會

第一條 煙草專賣局及製鐵所ノ据置運轉資本ニ不足ヲ生シタルトキハ大藏大臣ハ融通證券ノ發行ニ依リ一時之ヲ補足スルコトヲ得但シ其ノ金額ハ煙草專賣局ニ在リテハ七百萬圓製鐵所ニ在リテハ五百五十萬圓ヲ超過スルコトヲ得ス
第二條 前條ノ融通證券ハ遲クモ翌年度ニ於テ之ヲ償還スヘシ
第三條 本法ニ依リテ發行スル融通證券ニ關シテハ本法ニ規定スルモノノ外大藏省證券條例ヲ準用ス但シ大藏省證券條例第四條第一項ハ此ノ限ニ在ラス

(政府委員阪谷芳郎君登壇)
○政府委員(阪谷芳郎君) 是ハ此煙草ノ專賣ト製鐵所ノ事業ガ、非常ニ擴張致シ

マシタノデ、非常ニ擴張ニナリマシタニ付キマシテハ、据置運轉資本ガ不足致シマスルカラ、或ハ此据置運轉資本ノ方増額致シマシテモ、宜シイノデゴザイマスケレドモ、此製品ナリ又葉煙草ノ如キモノハ、一ノ商業上ノ物品デゴザイマスルカラ、之ニ對シマシテ手形ヲ出シテ、其据置運轉資本ノ不足致シマスルノヲ、補ヒマセウツ云フ法律デゴザイマス、是ハ事業ノ擴張致シマシタ結果、止ムヲ得マセマ次第デゴザイマス
○議長(松田正久君) 發言者ナケレバ、議事日程第十二委員選舉ヲ議題ト致シマス

第十二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○恆松隆慶君(百五十九番) 是ハ十八名ノ委員ヲ、議長指名ニ願ヒマス

○議長(松田正久君) 恆松君ノ動議ノ如ク、議長指名ノ十八名ノ委員ニ付託スルコトニ、異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(松田正久君) 異議ガナケレバ、十八名ノ委員ニ付託スルコトニ決定致シマス、議事日程第十三明治三十五年法律第四十九號中改正法律案、第一讀會ヲ開キマス、議案ノ朗讀ハ省略シマス—— 一木政府委員

第十三 明治三十五年法律第四十九號中改正法律案 第一讀會

明治三十五年法律第四十九號中左ノ通改正ス
第三條 第一回國勢調査ヲ行フヘキ時期ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

(政府委員一木喜徳郎君登壇)

○政府委員(一木喜徳郎君) 國勢調査ハ明治三十八年度ニ施行致マスルノガ、現行法ノ規定ニ、ナッデ居リマスガ、今日ノ場合財政上ノ狀況ガ、豫定ノ通國勢調査ヲ施行スルコトヲ許シマセヌト、此又戰役ノタメニ人口職業等ノ有様ガ、大ニ平時ト變ッデ居ルトコロガゴザイマス、此際國勢調査ヲ行ヒマスルノハ、適當ノ時機ナイト云フ考カラ致シマシテ、調査ノ時期ヲ延バシタイト云フ目的ヲ以テ、本案ヲ提出致シマシタノデアリマス、ドウウ御協賛ヲ願ヒマス

○議長(松田正久君) 發言者ナケレバ、議事日程第十四委員選舉ヲ議題ト致シマス

第十四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○恆松隆慶君(百五十九番) 是モ九名ノ委員ヲ、議長指名ニ願ヒマス

○議長(松田正久君) 恆松君ノ動議ノ如ク、議長指名ノ九名ノ委員ニ付託スルコトニ、異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(松田正久君) 御異議ガナケレバ、九名ノ議長指名ノ委員ニ付託スルコトニ決定シマス、議事日程第十五北海道官設鐵道用品資金會計法廢止法律案、第一讀會ヲ開キマス、議案ノ朗讀ハ省略シマス—— 阪谷政府委員

第十五 北海道官設鐵道用品資金會計法廢止法律案 第一讀會

案(政府提出)
北海道官設鐵道用品資金會計法ハ明治三十七年度限り之ヲ廢止ス
(政府委員阪谷芳郎君登壇)

○政府委員(阪谷芳郎君) 是ハ北海道ノ官設鐵道ハ、是マデ内務省ノ所管屬シテ居リマシタノデゴザイマスガ、整理ノ結果、之ヲ逓信省ノ所管ニ合併致シマシタ、サウ致シマスルト、逓信省ノ方ニハ從來用品資金ガゴザイマスルカラ、特別ニ用品資金ヲ置ク必要ガナイノデゴザイマス、ソレ故ニ北海道官設鐵道用品資金會計法ハ、三十七年度限り廢止シテ、其仕事ハ逓信省所管ノ用品資金會計法ニ移シマス。

○議長(松田正久君) 發言者ナケレバ、議事日程第十六委員選舉ヲ議題ト致シマス。

第十六 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○恆松隆慶君(百五十九番) 是モ九名ノ委員ヲ、議長指名ニ願ヒマス。

○議長(松田正久君) 恆松君ノ動議ノ如ク、議長指名ノ九名ノ委員ニ付託スルコトニ異議アリマセヌカ。

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(松田正久君) 異議ナケレバ九名ノ委員ニ付託スルコトニ決シマス、議事日程第十七國債證券及貯蓄債券利子所得稅免除ニ關スル法律案ノ第一讀會ヲ開キマス、議案ノ朗讀ハ省略シマス。

(恆松隆慶君十九モ併セテ御説明ヲ願ヒマスト呼フ)

第十七 國債證券及貯蓄債券ノ利子所得稅免除ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會

軍備補充ノ爲及臨時事件費支辨ノ爲明治三十七年以降政府ノ發行スル國債證券ノ利子及貯蓄債券法ニ依リ發行スル貯蓄債券ノ利子ハ所得稅ヲ免除ス但シ既納ノ税金ハ之ヲ還付セス。

○議長(松田正久君) 阪谷政府委員

(政府委員阪谷芳郎君登壇)

○政府委員阪谷芳郎君 本案ハ此國庫ノタメニ發行致シマスル國債證券、是ハ國庫債券モ、亦其他ノ今後發行致シマスベキ公債モ、今後發行致シマスベキ公債モ籠メマス、竝ニ此貯蓄債券法ニ依テ、債券ノ利子、是ハ皆所得稅ヲ免ジタイト云フ法律案デゴザイマス、是ハ畢竟致シマスルニ、段々國庫債券ノ發行ガ増加致シマスルニ付キマシテハ、成ルベク國庫債券ノ應募者ノ便利ヲ與ヘタイト、斯ウ云フ希望ガ出マシタデゴザイマス、然ルヲ此免稅ノタメニ既ニ御協賛ヲ經マシタ豫算ニハ、何等ノ關係ハゴザイマス。

○議長(松田正久君) 發言者ナケレバ、日程第十八委員選舉ヲ議題ニ致シマス。

第十八 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○恆松隆慶君(百五十九番) 本案ハ九名ノ委員ヲ、議長ノ指名ニ願ヒマス。

○議長(松田正久君) 議長指名ノ九名ノ委員ニ付託スルコトニ、御異議アリマセヌカ。

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(松田正久君) 異議ナケレバ議長指名ノ九名ノ委員ニ付託スルコトニ決シマス、議事日程第十九國庫證券價格計算ニ關スル法律案ノ第一讀會ヲ開キマス、議案ノ朗讀ハ省略シマス。

第十九 國債證券價格計算ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會

軍備補充ノ爲及臨時事件費支辨ノ爲發行スル國債證券ニ付テハ其ノ最低發行價格ヲ以テ債權ノ價格トシテ計算スルコトヲ得。

附則

本法ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス。

(政府委員阪谷芳郎君登壇)

○政府委員(阪谷芳郎君) 本案ハ此國庫債券其外事件ノタメニ發行致シマスル、公債ノ價格ヲ計算致シマスル場合ノ法律デゴザイマシテ、之ハ時價ニ依ルノガ當リ前デゴザイマスル、又固ヨリ各銀行等デハ時價ニ依ルコトデゴザイマセウガ、時ト致シマスルト、非常ニ此戰爭ノコトデゴザイマスルカラ、或ハ一時ノ高下ガアル、其一時ノ高下ノタメニ此一時價ニ依ラニヤナラヌト云フコトニナルト、隨分應募者ハ迷惑致スコトデゴザイマスカラ、斯ル止ムヲ得ザル事實デゴザイマスルデ、特ニ此便法ヲ設ケタイト云フ考デゴザイマス。

○議長(松田正久君) 發言者ナケレバ議事日程第二十、右議案審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉ヲ議題ニ致シマス。

第二十 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○恆松隆慶君(百五十九番) 是レハ前ノ委員ニ付託アラント望ミマス。

○議長(松田正久君) 恆松君ノ動議ノ如ク、前ノ委員ニ付託スルコトニ、御異議アリマセヌカ。

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(松田正久君) 異議ナケレバ恆松君ノ動議ノ如ク決シマス。——日程第二十一、郵便貯金法案第一讀會ヲ開キマス、議案ノ朗讀ハ省略シマス。

第二十一 郵便貯金法案(政府提出) 第一讀會

郵便貯金法

第一條 郵便貯金ハ政府ノ之ヲ管掌ス。

第二條 郵便貯金ノ預入ハ郵便貯金通帳ニ依リ其ノ拂戻ハ拂戻證書ニ依リ之ヲ爲ス但シ命令ヲ以テ特別ノ規定ヲ設ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス。

第三條 一人ノ郵便貯金制限額ハ左ノ如シ。

一 一度ノ預入額 十錢以上

二 貯金總額 千圓以下

三 預入金ノ端數ハ厘位ヲ限トス。

第四條 左ニ掲グル預入金ニ付テハ前條第一項第二號ノ制限ヲ適用セス。

一 公共團體、社寺、學校又ハ營利ノ目的トセサル法人若ハ團體ノ預入金。

二 命令ノ規定ニ依リ共同貯金ノ預入金。

三 產業組合ノ預入金。

四 振替計算ノ爲ニスル預入金。

第五條 郵便貯金通帳ハ命令ヲ以テ定ムル場合ヲ除クノ外一人一冊ヲ限トス。

前項ノ規定ニ違反シ二冊以上ノ通帳ヲ以テ貯金ノ預入ヲ爲シタル者アルトキハ最初ノ通帳、通帳ノ日附同一ナルトキハ貯金ノ最多額ナルモノニ記入シタル貯金ノ外利子ヲ付セス。

前項ニ依リ利子ヲ付スヘカラサル貯金ニ付既ニ拂戻シタル利子アルトキハ現ニ存在スル貯金ヨリ之ヲ控除シ又ハ別ニ之ヲ追徴ス。

第六條 郵便貯金額第三條第一項第二號ノ制限ヲ超過シタル場合ニ於テ郵便貯金預金人ノ之ヲ其ノ制限以内ニ減額セサルトキハ郵便官署ハ其ノ制限以内ニ減額スヘシ。

第七條 郵便切手及支拂期ノ開始セル證券ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便貯金ニ預入スルコトヲ得。

第八條 郵便貯金ノ利子ニ關スル規程ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム。

第九條 郵便官署ハ郵便貯金預ケ人ノ請求ニ因リ其ノ貯金ノ一部ヲ以テ國
責金共ニ也。貯金ヲ購入保蓄シ又ハ之ヲ賣却スレバ其ノ貯金ノ一部ヲ以テ國

種類ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム
第十條 郵便貯金拂出ニ關スル證書ノ有効期間ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十一條 郵便貯金ニ關シ無能力者ノ郵便官署ニ對シテ爲シタル行爲ハ能

第十二條 郵便貯金及保管ニ係ル證券ハ命令ヲ以テ定ムル場合ヲ除クノ外之ヲ讓渡スコトヲ得ス

第十三條 成規ヲ手續ヲ經テ郵便貯金ヲ拂出シ又ハ保管ニ係ル證券ヲ交付シタルトキハ正當ノ拂出又ハ交付ヲ爲シタルモノト看做ス

第十四條 郵便官署ハ郵便貯金ニ關スル取扱ノ遲延ニ因リ主シタル損害ニ

第十五條 郵便官署ハ郵便貯金預ケ人ノ眞僞ヲ調査スル爲預ケ人ヲシテ必

要ナル證明ヲ爲サシムルコトヲ得
第十六條 郵便官署ハ必要ナル場合ニ於テ郵便貯金通帳ヲ檢閲スルコトヲ得

第十七條 郵便貯金ニ關スル書類ニハ印紙稅ヲ課セス
第十八條 十年間郵便貯金ノ預入及拂出ナク且利子記入又ハ檢閱ノ爲ニス

ル通帳ノ提出ナキ場合ニ於テハ其ノ郵便貯金及保管ニ係ル證券ハ國庫ノ所有ニ歸ス
 郵更貯金拂出ニ關スル證書ノ有効期間満了ノ日ヨリ三年間再度證書受付

又ハ拂出金戻入ノ請求ナキ場合ニ於テハ其ノ拂出金ハ國庫ノ所有ニ歸ス
一定ノ期間拂戻ヲ爲ササル條件ヲ以テ預入シタル郵便貯金ニ付テハ其ノ

附則
期間ハ第一項ノ期間ニ算入セス

第十九條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
 那更寧金條剛ハ之ヲ養土ス

垂便則金便貯金ニ關シテハ本法ノ規定ヲ適用
第二十條 本法施行前ニ預入シタル郵便貯金ニ關シテハ本法ノ規定ヲ適用

本法施行前又ハ本法施行後一年內ニ第十八條第一項ノ期間ヲ經過シ又ハ經過スヘキ郵便貯金ニ付テハ本法施行ノ際郵便官署ニ於テ其ノ預ケ人ノ對シ郵便貯金通帳ノ提出又ハ預入金ノ處分ヲ爲スヘキ旨ヲ催告スヘシ其ノ催告ノ日ヨリ一年內ニ通帳ヲ提出セス又ハ預入金ノ處分ヲ申出サルトキハ更ニ其ノ旨ヲ公告シ尙一年內ニ之ニ應スル者ナキトキハ其ノ貯金及保管ニ係ル國債證券ハ國庫ノ所有ニ歸ス

本法施行前發行シタル拂戻證書ノ有効期間ハ本法施行ノ日ヨリ六十日トス

〔政府委員田健治郎君登壇〕

如ク現行法ハ明治二十三年、即チ議會開設前ニ制定ニナリマシタノデ、時勢ノ進歩

上、餘程不適當ノ簡條ガ多クゴザイマス、例ヘテ申シマスルト、金額ノ制限ノ如キモ餘リ少ナクアリマスルシ、或ハ通帳ヲ渡シマスルノニ、頗ル窮窟ニナツテ居リマスル、又ハ團體

ル簡條が、段々ゴザイマスルが故ニ、此改正ヲ致シマシテ、時世ノ進歩ト共ニ、貯金ノコ
金ト申ス如キモノヲハカリ少額ノ金ヲ限テ置キマスノハ甚多不便デアラクト云フヤウ

第二十一 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○議長(松田正久君) 恆松君動議ノ如ク、議長指名ノ九名ノ委員ニ付託スルコト

〔「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(松田正久君) 異議ナケレバ恆松君ノ動議ニ決定シマス、議事日程第二十三明治三十七年勅令第百七十七號承諾ヲ求ムル件、委員長ノ報告ヲ望ミマス

C 慟松隆慶君(百五十九番) 本案ハ頗ル調査ノ必要モゴサイマスルシ
 ダケヲ延期セラレンコトヲ望ミマス 本日ノ日程
 「異議ナシ異議ナシ」又ハ「贊成」ト呼フ者アリ

○議長(松田正久君) 委員長ノ請求ガアリマスカラ、之ヲ延期スルコトニ異議ハゴザ
イマセヌカ

〔「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ〕
○議長 松田正久君 異議ナケレバ延期ニ決定シマス、議事日程第二十四市制町

市町村制中改正法律案(福井三郎君)

第二十四 郎君提出)
〔福井三郎君登壇〕
第一議會(終報告)

此結果ハ既ニ御手許ニ回テ居リマスカラシテ、詳シク御話ハ致シマセヌガ、付託ニナリマ
 〇福井三郎君(三百十二番) 市町村制ノ特別委員會ノ結果ヲ後報告申上ケマス
 シテ原素ト少シク變リマシタノデ、付託ニナリマシタ原素「復讐決」定云フコロノ下

へ持ッテ行ッテ「確定スルマテ」又「禁錮以上ノ刑ノ宣告ヲ受ケタルトキ」ヨリ「其裁判確

ガザイマス、其理由ハ公民權ヲ最終ノ裁判ノ齊ムマデ失ハヌト云フコトニシテ置イテハ、定ニ至ルマデ又同シト云フコトニ變リマシタノデ、ソレカラ町村制ノ方モヤハリ同ジコト

穩かなラヌコトガアルニ云フノハ、一過刑ノ宣告ヲ受ケタ者ハ、免ニ角ニ罪人ト云フコトハ少クテモ、囚人ト云フダケニハ違ヒナイノデアルカラ、苟且メニモ、囚人ト云フ名ノ付イタ者ニ、國家公共ノコトニ與カラシムルト云フコトハ、穩かなラヌト云フ政府委員ノ反對モアリマシタ、兎角スル中ニ、委員ノ中ノ佐藤庫喜君カラ、又修正案が出マシテ、委員會ハ全會一致ヲ以テ、第一審ノ判決ヲ受クルマデ、公民權ハ失ハナイモノ、第一ノ刑事裁判ノ一審ノ判決ヲ受ケタナラバ、公民權ヲ停止セラル、モノト云フ趣意ノ修正ニ、全會一致ヲ以テ決シマシテゴザイマス、此案ハ御承知ノ通ニ、現在ノ府縣會議員、郡市町村會議員ノ頭上ニ係ル大問題デゴザイマスカラ、餘計ナコトハ申上ゲマセヌガ、報告申上ゲマシト通デゴザイマスカラ、ドウゾ其御積リデ御賛成ヲ希望致シマス、ソレカラ外ニモウ一件御

依託ニナリマシタ、山口君カラノ提議ニナツテ居リマスル、市町村制ノ改正法律案デゴザ

隨分議論ガヤカシウゴザイマシテ、甲論ジ乙駁デ、未ダ終局ヲ告ゲマセヌ故ニ、ユヅグリ審

議ヲ致シマシテ、イツレ明年ノ議會ノ時分マデニ、御報告ヲ申上ケル積リデゴザイマス、茲ニハ唯經過タケヲ御報告致シテ置キマス

○花井卓藏君(三百七番) 委員長ニ賛同カアリマス
○議長(松田正久君) 花井卓藏君

○花井卓藏君(三百七番) 其理由ヲ承ルト、裁判確定スルマデハ、免ニ角無罪ノ人
デアル、一旦一審ノ判決ヲ受クルト云フ、裁判所ハ確定シナイケレドモ、ヤハリ囚人デア
ルカラ、權利ヲ與ヘナイト、斯ウ云フ御修正ノヤウニ承ル、ソレハ少シ全體ノ選舉ニ關ス
ル法律ト、抵觸ヲシハシナイカト云フ、私ハ竊ヲ抱イテ居ル、一審ノ判決ヲ受ケマシタダケ
デ、囚人ト云フ名ハ無論附セラレヌデアル、現ニ此衆議院議員ノ選舉ニ關スル法律ヲ
讀シテ見マスルト云フト、一審ノ判決モ受ケ、二審ノ判決モ受ケ、上告中ニ係リテ居ル
人ト雖モ、ヤハリ此議員ノ選舉權ト云フモノハ失ハヌト云フコトニナッテ居ル、サウ致シマ
スルト云フト、市町村會議員ナドト云フヨリ、優等ナル衆議院議員ハ囚人デモ差支ハナイ
ガ、ソレヨリ以下ノ市町村會議員ニ在リテハ、是ヨリ以上ノ法律ノ拘束ヲシナケレバ
ラヌト云フ理窟ニナラヌカト、私ハ考ヘマス、其邊ノ御詮議ハナカッタデゴザイマセウカ、若
シ私ノ論ガ間違ッテ居ルト云フコトデアルノナラバ、御教ヲ戴キタイト思フノデアリマス

○福井三郎君(三百十二番) 委員會デモ其議論ハゴザイマシテ、總テ委員モサウ云
フ意向ヲ以テ居リマシタデゴザイマス、故ニ大抵其通ニ決セラレサウナ模様デゴザイ
マシタ、所ガ政府委員ノ答辯ニ、此位マデナラバ同意ガ出來サウナト云フ意向ヲ示サレ
マシタ、デ行ハレヌコトヲ云ッテ、到頭喧嘩別レニナッテシマッテハイカヌカラ、寧ロ政府委員
ト折合ノ付クトコロデ、治メテ置イタ方ガ宜カラウ、免ニ角是ハ火急ナ問題デアル、今日
本國中ニ此問題ノタメニ澤山イロ／＼間違ッテ居ルコトガゴザイマスカラシテ、早キ
ヲ要スル手廻シ能ク、政府ノ同意ヲ得ラル、議論ノ方ガ宜カラウ、是モ一進歩デアルト云
フヤウナ意味ヲ以テ、詰リ斯ウ云フ修正ニ、委員會ハ一致贊成ヲ致シマシタノデゴザイ
マス、ソレデ今花井君ノ御尋ネノ如キコトハ、大分委員中ニハ議論モアリ、疑ヒ起ッ
コトデアリマスガ、ソレニ就イテハ最も明快ナル答辯ヲ、政府委員ガ委員會ニ出席シテ述
ベラレマシタゴザイマスカラ、幸ヒ今日政府委員モ出テ居ラレマスカラ、私ガ御答ヲスルヨ
リ、ドウカ其御答ハ政府委員ニ譲ッテ方ガ簡便デゴザイマセウト思ヒマス

○花井卓藏君(三百七番) 政府委員ガ參ッテ居リマスルナラバ、其説明ヲ聽キタイト
思ヒマス、別段ナル理窟ハナイコト、私ハ信ジテ居リマス

(政府委員吉原三郎君登壇)

○政府委員(吉原三郎君) 唯今ノ御質問ニ御答致シマスルガ、此禁錮ノ刑ノ宣告ア
ルト云フコトハ、現ニ衆議院議員ノ選舉法第十一條ニモ、同様ノコトガゴザイマスルノデ、
現在ノ此市町村制ニアリマスル公判ニ付シタバカリテ、權利ヲ失フト云フコトハ、餘リ酷
ナヤウニ考ヘテ居リマス、既ニ昨年一昨年アタリカラ、漸ク施行シテ居リマスルコトノ、衆
議院議員選舉規則ニヤハリ其刑ノ宣告ガアレバ權利ヲ失フト云フコトガアリマスノデ、是
トノ權衡カラ考ヘテ見マシテモ、ヤハリ是ノ如クニ修正ヲ致シマスルコトガ、穩當デアルト考
ヘマシタノデアリマス

(森田卓爾君登壇)

○森田卓爾君(二百四十一番) 本案ニ付イテ意見ヲ申上ゲマス、サウスレバ唯今ノ花
井君ノ御疑團モ、自カラ解ケヤット思ヒマス、實ハ是ハ悉シク申上ゲルマデモナク、町村ノ
公民權ト云フモノガ罪ガアルカナイカ分ラヌ、即チ公判ニ付セラレト、直ニ停止セラレ
ル、停止セラレタ結果、ソレヲ基本トシテ此市町村ノ議會ハ勿論、縣會郡會、總テノ議
員ノ資格ガ失却シテ、サウシテ他日公判ノ調ベノ上デ無罪ニナリマシテモ、議員ノ資格ガ
消滅スル、ソレハ復活シナイ、斯ウ云フ危險ナコトノ法律ニナッテ居ル、ソレデ之ヲ變ヘテ、
衆議院ヤ其他ノ進歩シタル主義ニ依ッテ控ヘラレタル通ニ、公判ニ附セラレ、ノミナラ
ズ、刑ガ確定シタナラバ、即チ有罪ノ判決ガ確定シタナラバ、公民權ヲ殺ゲト云フコトニ
シタイト云フノガ、原案ノ趣意デアル、委員會ノ修正ト云フモノハ、ドウデアアルカト云ヒマス

ト、是ハ原案ヲ少シ縮メタノデアリマス、理由ノナイコトニシタノデアアル、ソレハドウ云フコトカ
ト云フト、ヤハリ公判ニ付セラレテ一審ノ判決ヲ經タラバ、其裁判ハ未確定デモ、確定マデ
ノ間ニ於テハ權利ヲ殺ゲウ、斯ウ云フコトニ修正ヲ致シタノデアリマス、是ハ花井君ノ仰セ
ラレト通ニ、誠ニ理由ノナイコトデアッデ、苟モ罪人ニアラザレバ、權利ヲ殺ゲヌト云フコト
ヲ、茲ニ基本ト致ス以上ハ、一審ノ判決ヲ受ケタカラト云フテ、ソレヲ殺ゲト云フ理由ハナ
イノミナラズ、二審ノ判決ニ至ッテモ、其理由ハ出テ來ナイ、ヤハリ確定ヲ待ッテ權利ヲ殺
コトニナラケレバ、本來本案ヲ提出シタ趣意ハ一貫シナイノデゴザイマス、去リナガラ委員
會ノ方デハ、是ハ餘程事情ガアルト云フノハ、此問題ガ頗ル急ク問題デアッデ、サウシテ衆
議院デ可決致シテモ、貴族院ノ方ニ回ッテ、政府ガ尙イヤダ／＼ト云フコトニナルト、ドウ
ナルカ此運命ガ餘程怪シイコトニナリハセヌカト云フ、眞ガアッテデアラウト思フノデ、ソ
デ此分ッテコトニモ拘ハラズ、私ハ態々出テ贊成演説ヲシテ、理義ヲ明シテ、貴族院ニ回
ルヤウニシテ置カウト思ッテ、此處ニ立ッタノデアリマス、ソコデ此案ノ忙ガシト云フコトヲ
申上ゲテ、諸君ノ御參考ニ供シタイト云フノハ、實ハ今行政裁判所ニモ大分ゴザイマス
シ、地方ノ府縣參事會ノ裁判問題ニナッテ居ルコトガ、澤山ゴザイマスト云フノハ、數ハ一
々申シマセヌ、後トテ書類ヲ御示シ、テモ宜シウゴザイマスガ、公判ニ付セラレタト云フノデ、
縣會議員ノ權利ヲ失却スル、セメト云フ裁判ガ澤山上ッテ居ッテ、ソレハ行政裁判所ヘ
往クト、是ハモウ判決例デ極マッデ、ドウシテモ他日無罪ニナッテモ、一度付セラレタカライ
カヌト云フノト、モウツ危險ガアルト云フノハ、此項ノ法律ノ書キ方デ、禁錮又ハ罰金ニ
處スト云フ、斯ウ云フ刑ノ書キ方ガ澤山アル、ソコデ禁錮若クハ罰金ト云フ罰金ノ方ニ
判決ガナッテモ、苟モ禁錮又ハ罰金ト云フノニ係リサウナト云フ判決ヲ受ケタモノハ、皆失
却スル、行政裁判所デ失却スル、無罪ニナッテラ勿論罰金刑ニ處セラレテモ、失却スル
云フコトニ、慣例ガ一致シテ居ッテ、明日ニモ明後日ニモ此法律ノアルガタメニ、首ヲ斬
レル議員ガ澤山出來テ居ル、ドウカシテ本期ノ議會ニ而モ年内ニ採決ヲシテ戴カヌト、時
期ガ餘程切迫シテ居ルト云フコトガアル、ソレデ斯ウ云フコトニナル若シ諸君ニ於キマシ
テ、何處迄モ終始一貫センナラヌト云フノデ、原案ノ通ニ復活ヲ致シテ、刑ガ確定シタラ
殺ゲト云フコトニシタイト云フ思召シナラ、ソレデモ宜シイ、ソレカラ不十分デアルガ、先
第一審ノ判決ト致シテ置ケバ、理窟ハ立タヌガ、ズット元ハ是ハ豫審トアッテ、ソレヲ此議
會デ公判ニ直シタ、豫審中ト云フノヲ直シテ公判ト云フノニ直シタ、ソレガ今度始メテ第
一審トナッタノデアアルカラ、進歩ニハ違ヒナイカラ、緩々學理上ニ問フヤウニシテ、又再ビ改
メルコトニシテモ、今日ハ急ク問題デアアルカラ、政府ノ氣ニ入ルヤウニシテ、通過ヲ計ル思召
ナラバ、ソレデモ宜シイ、ソコデ私ハ斯ウ云フコトヲ云ッテ、壇ヲ去リマス、免ニ角本案ハ今
日直チニ二讀會カラ三讀會ニ移ッテ議シテ戴イデ、修正案ノ通りデモ宜シウゴザイマスシ、
又原案ノ通デモ宜イカラ、議事ヲ今日直チニ次ノ日程ニ進ンデ往ッテ、議シテ戴キタイ、
大體ニ於テハ改正ノ要ガアル、改正ニ付イテハ贊成デアルト云フコトヲ、申シテ置キマス

○花井卓藏君(三百七番) 意見ヲ述ベマス

○議長(松田正久君) 演壇ニ立ッテ御述ベナサイ

○花井卓藏君(三百七番) 演壇ニ立ッテ述ベル程、長イ時間ハ費シマセヌ、私ハ第一
ノ理由トシテ、自分ノ質問ノ理由ヲ其儘引用ヲ致シマス、第二ノ理由トシテ森田君ノ
演説ヲ其儘引用ヲ致シマス、而シテ森田君ノ最終ノ一言、斯クセザレバ上院ノ通過覺束
ナシ、故ニ止ムヲ得ズ贊成シタト云フ一節ハ、本案ニ付キマシテ、修正ノ根據ノナキ所以
ヲ、表明シタル言語ト云ハナケレバナラス、ソレデゴザイマスカラ、ヤハリ此案ハ原案ノ復活
致シマシテ、國民ノ公法上ニ於ケル大ナル權利ニ妨ゲラ來ストコロノ大問題デゴザイマス
カラシテ、軍國ノ議會ニ於テ國民ノ全體ハ至誠ヲ捧ゲテ働イテ居ル今日デゴザイマスルカ

ト、是ハ原案ヲ少シ縮メタノデアリマス、理由ノナイコトニシタノデアアル、ソレハドウ云フコトカ
ト云フト、ヤハリ公判ニ付セラレテ一審ノ判決ヲ經タラバ、其裁判ハ未確定デモ、確定マデ
ノ間ニ於テハ權利ヲ殺ゲウ、斯ウ云フコトニ修正ヲ致シタノデアリマス、是ハ花井君ノ仰セ
ラレト通ニ、誠ニ理由ノナイコトデアッデ、苟モ罪人ニアラザレバ、權利ヲ殺ゲヌト云フコト
ヲ、茲ニ基本ト致ス以上ハ、一審ノ判決ヲ受ケタカラト云フテ、ソレヲ殺ゲト云フ理由ハナ
イノミナラズ、二審ノ判決ニ至ッテモ、其理由ハ出テ來ナイ、ヤハリ確定ヲ待ッテ權利ヲ殺
コトニナラケレバ、本來本案ヲ提出シタ趣意ハ一貫シナイノデゴザイマス、去リナガラ委員
會ノ方デハ、是ハ餘程事情ガアルト云フノハ、此問題ガ頗ル急ク問題デアッデ、サウシテ衆
議院デ可決致シテモ、貴族院ノ方ニ回ッテ、政府ガ尙イヤダ／＼ト云フコトニナルト、ドウ
ナルカ此運命ガ餘程怪シイコトニナリハセヌカト云フ、眞ガアッテデアラウト思フノデ、ソ
デ此分ッテコトニモ拘ハラズ、私ハ態々出テ贊成演説ヲシテ、理義ヲ明シテ、貴族院ニ回
ルヤウニシテ置カウト思ッテ、此處ニ立ッタノデアリマス、ソコデ此案ノ忙ガシト云フコトヲ
申上ゲテ、諸君ノ御參考ニ供シタイト云フノハ、實ハ今行政裁判所ニモ大分ゴザイマス
シ、地方ノ府縣參事會ノ裁判問題ニナッテ居ルコトガ、澤山ゴザイマスト云フノハ、數ハ一
々申シマセヌ、後トテ書類ヲ御示シ、テモ宜シウゴザイマスガ、公判ニ付セラレタト云フノデ、
縣會議員ノ權利ヲ失却スル、セメト云フ裁判ガ澤山上ッテ居ッテ、ソレハ行政裁判所ヘ
往クト、是ハモウ判決例デ極マッデ、ドウシテモ他日無罪ニナッテモ、一度付セラレタカライ
カヌト云フノト、モウツ危險ガアルト云フノハ、此項ノ法律ノ書キ方デ、禁錮又ハ罰金ニ
處スト云フ、斯ウ云フ刑ノ書キ方ガ澤山アル、ソコデ禁錮若クハ罰金ト云フ罰金ノ方ニ
判決ガナッテモ、苟モ禁錮又ハ罰金ト云フノニ係リサウナト云フ判決ヲ受ケタモノハ、皆失
却スル、行政裁判所デ失却スル、無罪ニナッテラ勿論罰金刑ニ處セラレテモ、失却スル
云フコトニ、慣例ガ一致シテ居ッテ、明日ニモ明後日ニモ此法律ノアルガタメニ、首ヲ斬
レル議員ガ澤山出來テ居ル、ドウカシテ本期ノ議會ニ而モ年内ニ採決ヲシテ戴カヌト、時
期ガ餘程切迫シテ居ルト云フコトガアル、ソレデ斯ウ云フコトニナル若シ諸君ニ於キマシ
テ、何處迄モ終始一貫センナラヌト云フノデ、原案ノ通ニ復活ヲ致シテ、刑ガ確定シタラ
殺ゲト云フコトニシタイト云フ思召シナラ、ソレデモ宜シイ、ソレカラ不十分デアルガ、先
第一審ノ判決ト致シテ置ケバ、理窟ハ立タヌガ、ズット元ハ是ハ豫審トアッテ、ソレヲ此議
會デ公判ニ直シタ、豫審中ト云フノヲ直シテ公判ト云フノニ直シタ、ソレガ今度始メテ第
一審トナッタノデアアルカラ、進歩ニハ違ヒナイカラ、緩々學理上ニ問フヤウニシテ、又再ビ改
メルコトニシテモ、今日ハ急ク問題デアアルカラ、政府ノ氣ニ入ルヤウニシテ、通過ヲ計ル思召
ナラバ、ソレデモ宜シイ、ソコデ私ハ斯ウ云フコトヲ云ッテ、壇ヲ去リマス、免ニ角本案ハ今
日直チニ二讀會カラ三讀會ニ移ッテ議シテ戴イデ、修正案ノ通りデモ宜シウゴザイマスシ、
又原案ノ通デモ宜イカラ、議事ヲ今日直チニ次ノ日程ニ進ンデ往ッテ、議シテ戴キタイ、
大體ニ於テハ改正ノ要ガアル、改正ニ付イテハ贊成デアルト云フコトヲ、申シテ置キマス

ラシテ、政府モ公權利ヲ成ルベク擴張セルト云フ案ニ對シテ、即チ公權利ヲ殺ガナイヤウニシテ、當然行使シテヤルト云フ案ニ對シテ又其他ノ法律關係ノ點ニ於テ、稍、統一ノ出來マスル法案ニ對シテ、異議アルベキ筈ハナイ、斯様ナルコトニ對シテマデ異議ヲ挟ム如キ不親切ナル政府トハ、心得マセヌノデアリマスカラ、原案ニ復活スルト云フ意見ヲ茲ニ提出致シマス

〔贊成々々〕ノ聲起ル

○恆松隆慶君(百五十九番) 本案ハ大體ニ於テ異議ハナイノデアリマス、直ニ第二讀會ヲ開イテ之ヲ審議スルト云フニハ、マダ十分討究ヲ要スル問題ト考ヘマスカラ、此場合ハ二讀會ヲ開クト云フコトニシテ、而シテ其會議ハ後ニ讓ルト云フコトニシテ今日ハ御延ベニナランコトヲ希望致シマス

○議長(松田正久君) 本案ノ第二讀會ヲ開クヤ否ヤニ付イテ決ヲ採リマス、本案第二讀會ヲ開クト云フニ同意者ハ起立ヲ求メマス

起立者 多數

○議長(松田正久君) 多數デアリマスカラ、第二讀會ヲ開クトニ致シマス——直ニ第二讀會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ

○恆松隆慶君(百五十九番) 直ニ二讀會ヲ開カヌコトニ致シタイ、本案ハ十分考慮シテ見テ、委員ノ修正通テ宜イカ、又原案ニ復活スルガ宜イカ、篤ト討究フシテ纏メルヤウニ致シタイと思ヒマスカラ、直ニ二讀會ヲ開クベカラスト云フ意見デアリマス

〔開クベシ開クベシ〕ト呼フ者アリ

○議長(松田正久君) 森田卓爾君ヨリ直ニ第二讀會ヲ開キタイト云フ動議が出テ居リマスカラ、是ニ就イテ制規ノ贊成者ガアレバ、決ヲ採リマス

〔贊成々々〕ト呼フ者アリ

○議長(松田正久君) 贊成ガアルニ依テ決ヲ採リマス、直ニ第二讀會ヲ開クト云フ動議ニ、同意ノ諸君ハ起立ヲ望ミマス

起立者 多數

○議長(松田正久君) 多數デアリマスカラ、直ニ第二讀會ヲ開キマス——委員長ノ報告ヲ、全部議題ニ供シマス

市町村制中改正法律案

第二讀會

〔原案贊成〕ト呼フ者アリ

○大岡育造君(百六十四番) 本員ハ原案ヲ贊成シマス

○議長(松田正久君) 採決ノ方法ヲ宣告致シマスガ、第一ニ委員ノ修正案ニ付イテ決ヲ採リ、第二ニ原案ニ付イテ決ヲ採リマス

○鳩山和夫君(二百二十九番) 本員ハ委員ノ報告ニハ、反對デアリマス

○議長(松田正久君) 委員ノ報告ニ同意者ハ起立ヲ望ミマス

起立者 無

〔原案異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(松田正久君) 御異議ガナケレバ、原案採用ニ決シマス

〔拍手起ル〕

○恆松隆慶君(百五十九番) 二讀會ヲ開カレテ原案ニ決セラレタ以上ハ、直ニ三讀會ヲ開イテ決定セラレンコトヲ望ミマス

〔贊成々々〕ノ聲起ル

○議長(松田正久君) 恆松君ノ動議即チ本案ノ第三讀會ヲ直ニ開クト云フコトニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ノ聲起ル

○議長(松田正久君) 御異議ガナケレバ直ニ第三讀會ヲ開キマス

〔直ニ確定ヲ望ミマス〕又〔贊成々々〕ト呼フ者アリ

市町村制中改正法律案

第三讀會

○議長(松田正久君) 反對ノ發議者ガナケレバ、原案通過確定致シマス——議事日程第二十五商業會議所法中改正法律案ノ第一讀會ヲ開キマス、——竹越與三郎君

第二十五

商業會議所法中改正法律案(井上角五郎君外六名提出)

第一讀會(委員長報告)

〔竹越與三郎君登壇〕

○竹越與三郎君(八十四番) 諸君、商業會議所中改正法律案ニ付イテ、委員會ノ報告ヲ申上ゲマス、此法律改正案ト云フモノハ、現在ノ商業會議所法ガ、議員ヲ二年毎ニ抽籤フ以テ交代セシメテ、其新シキ議員ヲ毎二年毎ニ、商業會議所ハ入レルト云フノガ、現在ノ法律デアリマス、此改正法ハ其選舉法ヲ改メテ、四年毎ニ選舉ヲスルト云フコトニシタイト云フノデ、而シテ今年ヨリ之ヲ實行シテ、現在ノ議員ニハ尙四年ノ間、恩典ヲ與ヘタイ、斯ウ云フ法律案ナノデアリマス、之ヲ一見スレバ甚ダ些細ノ問題デ、ドウナッデモ宜イヤウナ問題ト見エマスケレドモ、併シ現在ノ議員ヲ其儘ニ任期ヲ長クスルト云フコトハ(ソレハ意味ガ違フ)ト呼フ者アリ、餘程重大ナ問題ト思フノデゴザイマスカラ、吾々ハ之ヲ慎重ニ注意シテ研究シテ見タノデアリマス、其研究ノ結果、此改正法ハ採用スベキモノデナイト決定シタノデアリマス、其理由ハ半數改選ノ法律ハ、選舉ノ原則トシテハ甚ダ面白イコトデアル、且又此商業會議所法ハ明治二十三年ニ出來タモノデ、二十八年ニ至テ改正セラレ、又三十五年ニ至テ改正セラレテ、既ニ歴史ヲ積ンデ來タモノデアル、而シテ其改正セラレ、必ズ七年若クハ五年ノ期限ヲ經テ居ッデ、立派ニ歴史ガ出來テ居ルモノデアル、而シテ三十五年ニ出來タ現行ノ法律改正ノトキ、議員ガ如何ナル討議ヲシタカト云フ、歴史ヲ尋ネテ見マスルト、半數改選ニ付イテハ何等ノ議論モナカッタノデアリマス、又政府ガ三十五年ニ此法律案ヲ出ストキ、各商業會議所ノ意見ヲ徵シマシテ、此討論難難殆ド十年掛タノデアリマスガ、此間未ダ會テ半數改選ニ付イテ、大ナル苦情ハナカッタノデアリマス、然ルニ今年ニ至ッデ卒然トシテ、半數改選ガイケナイト云フ議論が出デ來タ、是ニハ何等カノ意味ガナケレバナラヌト思ウデ、研究シテ見タノデアリマスガ、少シモ意味ハナイデス、即チ選舉ノ度ミスルノガ不便利ダト云フコトデアル、選舉ノ度ミスルコトガ、不便利ダト云フデモ、人間ノ數ハ極デ居ルノデア

ルカラシテ、何デニシヤウガ、一度ニシヤウガ、手數ハ同ジコトデアルノデス、斯ウ云フ理由デアラカラシテ、半數改選ヲ止メルト云フ理由ハ、少シモ見出サヌノデアリマス、且又政治ニ於テモ、實業ニ於テモ、此間カラヤカマシキ新智識ト云フ議論ガアルガ、實業ハ尙更ノコト、新智識ヲ商業會議所ニ吸收シナケレバナラヌノデアリマスガ、二年毎ニ選舉スルト云フコトハ、此目的ヲ達スルニ最モ便利ナル方法デアラウト思フノデス、然ルニ之ヲ四年ニスルト云フコトハ、甚ダ面白カラヌコトデアル、面白キ歴史ヲ有ッデ居リ、有益ナル歴史ヲ有ッデ居ル、先例ヲ破ッデ來ルノデアラカラ、是ハ採用スベキモノデナイト思フ、ソレカラ

ハ有商業會議所ノ願デアラカラ、許シテ方ガ宜シイト云フ議論モアリマスガ、商業會議所自治ノ法律デハナイ、既ニ商業會議所ヲ取締ルニ、國法ヲ以テスルト云フ以上ハ、此法律ハ國民ノ基礎ノ上ニ立ッデ居ルモノデアラカラ、商業會議所ガ請願シタカラト云ッテ、必シモ許スベキモノデハナイ、國家全般ノ上カラ見テ許スモノトシタトキニ、許スベキモ

ノト思フ、而シテ吾ハ未ダ國家全般ノ基礎ノ上カラ、許スベキ理由ヲ發見セヌノデアリマス、且又是等ノ淺薄ナル、少シモ目的ノナキ理由ニ依テ許スト云フコトハ、此法律ヲ實施以來、日未ダ淺イノデアリ、此法律ハ未ダ試驗ノ中ニ屬シテ居ルノデアリ、試驗中ノ法律ヲ單純ナル理由ニ依テ、改廢スルト云フコトハ、吾ハ法律ヲ弄ブノ責ヲ免レヌト思ヒマス、斯ウ云フ譯ニ依テ、否決スベキモノト思ヒマス。

○島田三郎君(二百七十八番) 唯今ノハ、委員會ノ經過ヲ御話シニナツタノデスカ、一個ノ意見トシテ述ベラレタノデスカ。

○竹越與三郎君(八十四番) 委員會ノ決シタ要領ヲ、敷演シタノデスカ。

○島田三郎君(二百七十八番) 其述ベラレタ理由ハ、委員長ノ御考デアルカ、或ハド云フ變遷ガアツタカ、ソレヲ御報告ニナルノガ、委員長ノ職分デアルト心得テ居リマス。

○竹越與三郎君(八十四番) 變遷ガ御聞キニナリタイノデスカ、變遷ガ聞キタイト云フナラ、御話シテモ宜シ。

○島田三郎君(二百七十八番) 御待チナサイ、本員ハ經過ヲ報告スルノガ、委員長ノ職分ト理解シテ居ル故ニ、ソレヲ伺フタノデスカ。

○竹越與三郎君(八十四番) 自分ハ斯ク報告スルノガ、委員長ノ職分トシテ適當ノコト、信ジタノデアリマス。

(谷澤龍藏君登壇)

○谷澤龍藏君(二百七十二番) 諸君、私ハ少數意見ヲ此處デ述ベマス(拍手スル者アリ)實ハ少數意見ト申シマスケレドモ、實際ハ多數ナノデアリ(笑聲起ル)二名ノ缺席ガアリマシタカラ、少數ニナツテ居リマス、其實ヲ一言述ベテ置キマス、唯今委員長カラシテ此否決シタト云フコトデアリマシタガ、少數者ノ意見ヲ茲ニ述ベマスガ、第一此商業會議所ノ議員ノ任期ハ四年ナンデス、四年デサウシテ二年毎ニ半數ヲ改選スルト云フノデスカ、始メニ當ツタ者ハ二年ニナツテ居ルガ、四年ガ原則ニナツテ居ル、此半數改選ガ宜イカ、總選舉ガ宜イカト云フコトニ付イテハ、徒ニ半數改選ヲスレバ費用ト時日トヲ費シテ、強イテ益ガナイト云フコト、近來ノ趨勢ハ如何市町村制ノミデ、其他ハ總選舉ニ傾イテ居ル、ソレハドウ云フヤウナ譯デアルカト云フニ、詰リ輿論ヲ見ルニハ、總選舉ヲスル方ガ輿論ガ一致スルト云フノデ、此ニテ理由カラシテ、吾ハ少數者ハ此原案ヲ可ナリト見マシタノデアリマス、尙之ニ就イテ少シク取調ベタコトヲ一言述ベマス、唯今委員長カラシテ、商業會議所カラノ請願デアルカラ、容ル、コトハイケンイト云フコトデアリ、吾ハ之ヲ自治ノ本體カラ、之ヲ容レラガ宜カラウト云フコトヲ探ツタノデスカ、ソレハドウデアルカト云フニ、此商業會議所ノ法案ハ、二十三年頃ニ出來タノデ、之ヲ半數改選トシ實際今ニヤリツ、アル、然ルニ此選舉ト云フモノハ、ナカク、ムヅカシクナツテ居リマシテ、競爭ノ甚シイ處ハ、此競爭ノタメニ二回モ選舉ヲシナケレバナラヌコトナリ、又冷淡ナル處ハ、選舉人ガ無イカラ數回ノ選舉ヲシナケレバナラヌコトナリ、非常ナル手數ガ掛ツテ居ル、ソレト今日商業家モ此時局ニ對シテ、總テ商業上ノ發達ヲ考ヘルトコロカラシテ、斯ウ云フ無用ノ費用ト日子ヲ費スコトハ、止メタ方ガ宜イ、效能ノナイトハ、止メタ方宜カラウト云フノデ、商業會議所ノ聯合會デ決議シタ、是ハ實驗上無益ノ日子ト費用ヲ費スデケデ、何ノ效能モナイト云フノガ、一ノ尤モストコロデアリ、ソレカラ此唯今述ベマシタ通ニ、殆ど日本全國デ何ノ選舉ヲ見マシテモ、時勢ノ趨勢ト共ニ存シ居ルモノハ、市町村制ノミガ半數改選ニナツテ居リマスガ、從來半數改選毎ニ、隨分イロノ、不都合ノコトガアツテ、寧ろ總選舉ノ方ガ宜イト云フコトニ、近來傾キツ、アルノデ、商業會議所ハ一ニ是等ノ利害ノ審查ヲシテ、此案ハ商業會議所ノ聯合會、此聯合會ノ決議ヲ、其市ノ選出代議士ノ手ヲ經テ出テ來テ居ルノデスカ、將來商業ヲ盛ンシ、商業會議所ヲ認

ムル以上ハ、此法案ノ如キ、衆議院デハ成ルベク商業會議所ガ、利害ノ感ヲ以テ出ストコロノ案ハ、成ルベク調査シテ容ル、ヤウニシタガ宜カラウ、尤モ商業會議所ノ如キハ、自治ヲシテ段々發達サスガ宜カラウト思フ、之ニ反對スルト云フ理由ハ、殆ど分ラナイ、商業會議所ハ自治ヲシテ、之ヲ取調ベテ、是ガ不便利デアル、是ガ宜イト云フコトヲ持ッテ來ル、何ノ妨ゲモナイノ、之ニ反對スル理由ハ分ラナイ、又政府ハドウデアルカト尋ネレバ、政府ハ同意デアル、意味ハナイ、折角ノ斯ウ云フ案デアルカラ、御異議ガ無ケレバ政府ハ同意スルト云フコトデアリ、吾ハ多年、二十三年以來實驗シテ、此商業會議所ガ、殆ど全會一致デ聯合シテ調査シタモノヲ以テ、此衆議院ニ出テ、其市ノ選出議員ヲ經テ、利害ヲ述ベテ之ヲ以テ公益ニ害ガナイ、却テ自治ヲ發達スルニ至ルノデアリノ、之ヲ否決スルノハ、殆ど本員ハ了解シマセヌ、是ハ一時或所ノ人ガ、四名程出ラレテ決ラレマシタガ、九名ニ對スル四名デ、闕席二名ヲ入レ、バ反對者ガ多數デアリマス、ドウガ此意ヲ以テ、御賛成アラフコトヲ望ミマス。

○立川雲平君(七十五番) 谷澤君ニ御尋シタイ、谷澤君ハ委員會ニ於テ、「私ハ本案ニ付特段ノ意見ハ有チマセヌガ、只本案ノ可否ガ何レニ歸スルモ、商業會議所ナル團體ノ消長ニ何等ノ關係ガナイト信ズルガ故ニ政府委員ガ御同意ナラバ賛成シテモ宜イト云フコト」ガ述ベデ置キマス、斯ウ書イデアルサウシテ見ルト政府ハ……

○谷澤龍藏君(二百七十二番) 少數意見ニ政府ガ賛成シタノデスカ、モット先ヲ御讀ミ下サルコト分ル。

○立川雲平君(七十五番) 果シテ政府ノ賛成ガアツタノデスカ、試驗中デアルカラシナイト云フコトデアラツタノニ、今俄ニ說ヲ翻シテ、御賛成ニ……

○谷澤龍藏君(二百七十二番) 若シ御分リニナラナケレバ、政府委員ニ御尋ネ下サレバ分リマス。

(早速整爾爾君登壇)

○早速整爾爾君(二百八十九番) 私ハ此事理ノ明白ナル問題ニ對シマシテ、委員長ノ報告ノヤウナ、反對ノ意見ガ起ラウトハ、夢ニモ想像セナカッタノデアリマス、必要ニ應ジテ物事ハ爲サナケレバナラヌ、法律改正ノ必要カラシテ、此問題モ提出サレタノデアリ、特ニ其事理ハ頗ル明白ナルデアリ、之ニ向テ反對ヲシヤウト云フモノハ、何カラ起ツタノデアルカ、吾ハ之ヲ殆ど其意味ガ解サレヌノデアリマス(簡單々々ト呼フ者アリ)固ヨリ簡單ノ問題デ、法律實施ハ未ダ今日ハ試驗中ニ屬シテ居ルカラ、之ヲ改ムルハ餘リニ輕忽デア

ル、法律ヲ弄ブデアラウト云フ御話デアリマスガ、之ハ事實ヲ知ラナイモノ、言葉デア

ヲ云ハ、議員ノ改選ハ、新智識ヲ網羅スル、新陳代謝ヲシテ改選スルコト云フノガ、其精神
デアルト付越君ガ云ハレタガ、ソレナラ半分ツ、殘シテ、古イモノヲ殘シテ置クノハイケナ
イ、總テ新シイモノヲヤルノガ選舉ノ原理ニ合ツテ居ルト思フ、新智識ヲ入レルニハ、却
半分殘シテ置クヨリ總選舉ヲスルニ越シタコトハナイノデ、衆議院議員ノ選舉、府縣
會議員ノ選舉等モ、亦サウデアアリマセヌカ、十年前ノ日本ナラバ、半分ノ議員ヲ殘シ
テ置ク必要ガアルカ知リマセヌカ、今日ノ日本ニ於テハ、ソナナ古代メイトコトヲスル必要
ガナイノデアアル、即チ選舉ノ原則カラ申シテモ、總選舉ヲスルノガ、最モ適當ノ規定デア
ウト考ヘル、ソレカラ付越君ハ今日ノ議員ニ對シ、特典ヲ與フルト云フコトガアツタガ今日ノ
議員ノ任期ヲ長ウスルト云フモノデハナイ、此法律ヲ改正スルト云ウテモ、今ノ議員ニ特
典ヲ與フルト云フコトハ少シモナイ、而シテ實際上カラ申セバ、實ニ費用ヲ要シ、手數ヲ
要シ、夫ガタメ全國ノ實業者ガ、不便ヲ感シテ居ルト云フコトデアアルカラ、何モ之ヲ改正
シタトテ差支ナイ害ガナイ、而シテ利益ガアル、此利益アル害ノナイ、法律改正ニ對シ反
對スルト云フ、理由ハ少シモナイト思フ、私ノ聞クトコロニ依レバ、或一種ノ感情ノ上カ
ラ、何デモ此法律ヲ潰サナケレバナラス、此感情ノ上カラ斯様ノ議論ヲ唱ヘル人ノアルヲ
聞イタガ、ソナナ問題デハナイ、此簡單ナル問題ニ對シテハ、意地ヲ張ルト云フヤウナコト
ノ必要ハ、少シモナイノデアアル、願クハ諸君ニ於テ、虚心坦懷、此簡單ナル明白ナル問
題ニ向ツテハ、滿場ノ御賛成アラシコトヲ希望致シマス

○恆松隆慶君(百五十九番) 討論終結ヲ願ヒマス

〔贊成々々〕ト呼フ者アリ

○議長(松田正久君) 討論終結ニ贊成ガアリマスカラ、討論終結ノ決ヲ採リマス、討
論終結ニ贊成ノ方ハ起立ナサイ

起立者 多數

○議長(松田正久君) 多數ト認メマス、本案ニ付イテ第二讀會ヲ開クヤ否ヤニ付イ
テ決ヲ採リマス、第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ハ、起立ナサイ

起立者 多數

○議長(松田正久君) 多數ト認メマス

〔拍手起ル〕

○島田三郎君(二百七十八番) 簡單ナルモノデアリマスカラ、直ニ二讀會ヲ開カレン
コトヲ望ミマス

〔贊成々々〕ト呼フ者アリ

○議長(松田正久君) 本案ニ付イテ直ニ二讀會ヲ開クニ、異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(松田正久君) 然ラバ第二讀會ヲ開キマス、本案全部ヲ議題ニ供シマス

商業會議所法中改正法律案 第二讀會

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(松田正久君) 然ラバ二讀會ハ可決セラレタモノト認メテ、宜シウゴザイマスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ 直ニ二讀會ニ願ヒタイト呼フ者アリ 贊成々々ノ
聲(起ル)

○議長(松田正久君) 然ラバ直ニ第二讀會ヲ開クコトニ、御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ 委員長ノ報告ガ可決スルコトニナリハシマセヌカト呼フ者ア
リ

○議長(松田正久君) 第二讀會ハ、原案ノタメニ開クコトニナッテ居リマスカラ……第
三讀會ヲ開キマス

商業會議所法中改正法律案 第三讀會

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(松田正久君) 然ラバ第三讀會ヲ此ニ終ッテ、確定致シタモノト認メマス

〔拍手起ル〕

○議長(松田正久君) 次ハ第二十六水利組合條例中改正法律案、第一讀會ヲ開
キマス、議案ノ朗讀ハ省略致シマス

第二十六

水利組合條例中改正法律案(飯島省三郎 第一讀會
君提出)

水利組合條例中左ノ通改正ス

第三十四條第一項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

前項ノ委員又ハ附屬ノ職員ハ組合會議員ヲ兼ヌルコトヲ得ス但工事其他
監督ノ爲特ニ設ケタル委員ハ此限ニアラス

○飯島省三郎君(二百九番) 本案ハ簡單デアリマスカラ、演壇ニ登ッテ理由ヲ述ブル
必要モゴザイマセヌカ、直ニ委員ニ附セラシコトヲ希望致シマス

○議長(松田正久君) 發言者ナケレバ、本案ニ付イテ第二讀會ヲ開クヤ否ヤヲ決シ
マス

○望月長夫君(二百四十六番) 唯今ノ案ハ委員付託

○恆松隆慶君(百五十九番) 此案ハ免ニ角此處デ二讀會ヲ開クト云フ場合ニナツタ
ガ、此案ノ議會ニ及ボスコトハ大ナルモノデゴザイマスカラ、十八名ノ委員ヲ議長カラ指名
ヲ願ヒマス

〔贊成々々〕ト呼フ者アリ

○議長(松田正久君) 議長指名ノ十八名ノ委員ニ付託スルト云フノ動議ガアリマス
ガ、異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(松田正久君) 異議ナケレバ恆松君動議ノ如ク決定致シマス、議事日程第
二十七未成年者飲酒禁止法案ノ一讀會ヲ開キマス、議案ノ朗讀ハ省略致シマス

第二十七

未成年者飲酒禁止法案(根本正君外一名 第一讀會
提出)

未成年者飲酒禁止法案(根本正君外一名 第一讀會
提出)

第一條 未成年者酒類ノ飲用シタルトキハ五十錢以下ノ料料ニ處ス

飲用ノ爲所持スル酒類及器具ハ行政ノ處分ヲ以テ之ヲ沒收ス

第二條 未成年者ニ對シテ親權ヲ行フ者其ノ飲酒ヲ制止セサルトキハ一圓

以下ノ料料ニ處ス

親權ヲ行フ者ニ代リテ未成年者ヲ監督スル者其ノ飲酒ヲ制止セサルトキ

及未成年者ニ對シテ飲酒ヲ勸誘シタル者亦同シ

第三條 未成年者タルヲ知リテ酒類ヲ飲用セシメ又ハ之ヲ販賣若ハ給與シ
タル者ハ十圓以下ノ罰金ニ處ス

附則

本法ハ明治三十八年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

〔根本正君登壇〕

○根本正君(百七十六番) 諸君、此未成年者飲酒禁止法案ハ、既ニ諸君が御承知ノコトアリマスルカシテ、極ク簡單ニ申上ゲマス、此法案ハ既ニ第十六議會ニ於キマシテ、衆議院ハ通過シ又貴族院委員會ハ通過サレマシタ問題アリマス、併ナガラ貴族院ノ方デハ御都合ガアツテ、再付託ト云フコトニナツテ、未ダ法律ニナリマセヌデアリマシタガ、實ニ此未成年者ニ對スルコト、云フモノハ、國家ノ一大問題デアリマス、今日滿洲ノ野ニ於テ、我等ノ軍即チ海陸軍ノ軍人が連戰連捷ト云フモノハ、即チ國民教育ニ由ルコトコソアレト私ハ信ジマス、又ニ依リマシテ、此未成年者ノ第一健康ヲシテ、誠ニ盛ニナシメ、又此智育ノ發達ニ於テ、完全ナラシメルコトハ、最モ注意セシケレバナラヌコト、思ヒマスルデス、デ此事ニ就キマシテハ、種々アリマスルケレドモ、十分ニ此理由書ニ書イテ置キマシタカラ、クワシク申上ゲマセヌデアリマスガ、實ニ此學生ガ酒ノタメニ逐ニ命ヲ亡クスモノモ澤山アル、又落第スルモノモ澤山アリマス、若シ此禁止法案ガ通過シテ居リマシタラバ、實ニ人ガ救ハレタト云フコトノ例證ガ茲ニアル、一昨年ノ十二月五日ニ此東京府下ノ牛込市ケ谷百十九番地ニ於テ火事ガアリマシタ、其時分ニ二人ノ生徒即チ未成年者タルコロノ學生ガ、燒死ニマシタ、是ハ何故デアルカト云ヘバ、諸君が御承知ノ通、宵ニ酒ヲ飲ンデ、サウシテ其松本久藏ト云フ下宿屋ニ泊リ居マシタ、小サナ小供老人ハ皆逃ゲテシマッタノ、此二人ノ生徒ト云フモノハ、遂ニ燒死シマッタノデアリマス、其他今日落第スルモノノナドモ、多クハ此酒ノタメニ、唯牛店ノミニ止マラズ、往クベカラザルトコロニ參テ、遂ニ金ヲ使テ甚ダ親不孝スルナド、云フコトモアリマス、若シ此法案ガ第十六議會ニ於テ、貴衆兩院トモ通過シテ居リマシタラ、少クモデス、唯今ノ學生二人ダケハ助カッタウト、私ハ確信スルモノデアル、諸君、ドウウ之ハ委員ニ付託サレテ、十分ニ御研究ニナツテ、國家ノタメニ是非通過サレムコトヲ、偏ニ願ヒマス

○恆松隆慶君(百五十九番) 是ハ根本正君ノ頗ル熱心ナ問題ガゴザイマスガ、十分委員ヲ調査シテ宜カラウト思フ、議長ノ指名デ、九名ノ委員ヲ選バレルコトヲ願ヒマス

○議長(松田正久君) 恆松君動議ノ如ク、議長指名ノ九名ノ委員ニ付託スルコトニ、異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(松田正久君) 異議ナケレバ恆松君動議ノ如ク委員ニ付託スルコトニ決シマス、議事日程第二十八災害地租免除ニ關スル法律案ノ第一讀會ヲ開キマス、議案ノ朗讀ハ省略シマス

第二十八 災害地租免除ニ關スル法律案(武富時敏 第一讀會 君外三名提出)

災害地租免除ニ關スル法律案

一府縣、數府縣又ハ北海道ノ全部若ハ一部ニ互レル水害、旱害、風害、霜害、雹害、蟲害、氣候ノ不良其ノ他天災ニ因リ收穫皆無ニ歸シタル田畑ノ地租ハ其ノ年分ニ限リ之ヲ免除ス

前項ニ依リ地租ノ免除ヲ受ケムトスル者ハ罹災後三十日以内ニ主務官廳ニ申出ツヘシ此ノ期間内ニ申出テサル者ハ免租ノ處分ヲ受クルコトヲ得ス

本法ニ依リ地租ヲ免除セラレタル者ハ納稅ニ因ル法律上ノ資格ヲ失フコトナシ

本法ニ依リ被害調査中ハ地租ノ徵收ヲ猶豫ス

附則

本法ノ規定ハ之ヲ明治三十七年ヨリ災害ヲ被リタル田畑ニ適用ス

明治三十六年法律第三號ニ依リ既ニ延納ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ未納ノ分ニ對シ本法ニ依リ更ニ免除ヲ求ムルコトヲ得

前二項ノ免除ヲ受ケムトスル者ハ本法施行ノ日ヨリ三十日以内ニ申出ツヘシ

明治三十四年法律第二十七號及明治三十六年法律第三號ハ本法施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

〔河井重藏君登壇〕

○河井重藏君(二百十八番) 此案ハ最早説明ヲ要スル程ノコトデゴザイマセヌ、度々此議場ニ出タコトデアリマス、既ニ其理由書ニゴザイマスカラ、多言ヲ費シマセヌ、幸ニドウザ成アラムコトヲ請ヒマス

〔政府委員若槻禮次郎君登壇〕

○政府委員(若槻禮次郎君) 此災害地租ノ處分ニ付キマシテハ、大分沿革ガゴザイマスノデ當初ハ延納ヲ許スコトデゴザイマシタ、然ル後地租ノ貸與ヲスルト云フコトニナツテ居リマス、ソレカラ災害地ニ付イテハ地租ヲ免除セナト云フコトニナツテ、何等ノ特典ヲ與ヘヌト云フコトニナリマシタ、然ル後災害地ニ就イテハ、土地ヲ限リテ其場合ニ應ジテ免租案ガ出マシタ、サウシテ最後ニ於テ、今日ノ法律ナル延納法ト云フモノガ、成立シテ居リマス次第デゴザイマシタ、斯ノ如ク僅カノ間ニ立法例ハ屢々變セラレテ、サウシテ今日ノ延納法ヲ以テ最モ適當ナルモノトシテ、僅カニ二年前ニ當議會ヲ通過シテ、法律ニナツテ居ル次第デゴザイマスカラ、今更ニ此災害地處分ヲ議セラレレルコトハ、餘リ宜シクナイト考ヘマスノデ、本案ハ否決セラレンコトヲ望ミマス

○恆松隆慶君(百五十九番) 本案ハ政府委員ハ反對ラシウゴザイマスケレドモ、免租ノ角ノヲ委員ニ託シテ、十分調査スルノ必要ガアラウト思ヒマスデ、九名ノ委員ヲ議長指名ナランコトヲ願ヒマス

〔贊成ト呼フ者アリ〕

○議長(松田正久君) 議長指名ノ九名ノ委員ニ、本案ヲ付託スルニ、異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(松田正久君) 異議ガナケレバ、其通り決定致シマス、議事日程第二十九災害地租免除ニ關スル法律案ノ第一讀會ヲ開キマス、議案ノ朗讀ハ省略シマス

第二十九 災害地租免除ニ關スル法律案(中西新作 第一讀會 君外一名提出)

災害地租免除ニ關スル法律案

府縣及北海道ノ全部若ハ一部ニ於テ災害ニ因リ收穫皆無ニ歸シタル田畑ノ地租ハ其ノ年分ニ限リ之ヲ免除ス

前項ニ依リ免租ノ處分ヲ受ケムトスル者ハ罹災後三十日以内ニ主務官廳ニ申出ツヘシ此ノ期間内ニ申出テサル者ハ免租ノ處分ヲ受クルコトヲ得ス

本法ニ依リ免租シタル地租ハ法律上總テノ納稅資格中ヨリ控除セス

本法ニ依リ被害調査中ハ地租ノ徵收ヲ猶豫ス

附則

本法ノ規定ハ之ヲ本法施行前一年間ニ災害ヲ被リタル田畑ニ準用ス

明治三十六年法律第三號ニ依リ延納ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ未納ノ分ニ

對シ本法ニ依リ更ニ免除ヲ求ムルコトヲ得
前二項ニ依リ免除ヲ受ケムトスル者ハ本法施行ノ日ヨリ三十日以内ニ申出
ツヘシ
明治三十四年法律第二十七號及明治三十六年法律第三號ハ本法施行ノ日ヨ
リ之ヲ廢止ス

○恆松隆慶君(百五十九番) 是ハ提出者ノ演說ヲ御略シニナッテ前委員ニ付託セン
コトヲ願ヒマス

○議長(松田正久君) 前委員ニ付託スルコトニ異議ハアリマセヌカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(松田正久君) 然ラバ前委員ニ付託スルコトニ致シマス、議事日程三十鐵道
ノ連絡輸送ニ關スル建議案 菊池武德君

第三十 鐵道ノ連絡輸送ニ關スル建議案(菊池武德君提出)

我カ國鐵道ノ發達ハ猶未タ幼稚ニシテ社會ノ必需ニ伴フコトヲ得ス從テ之
カ改良進步ヲ圖ルハ實ニ方今ノ急務ナリトス然レトモ線路ノ延長ハ多大ノ
經費ヲ要シ軍國多費事業繰延ノ際俄ニ其ノ完成ヲ望ムヘカラス仍テ先ツ鐵
道運輸ノ方法ヲ改メ其ノ機能ヲ啓發シ其ノ效用ヲ倍從スルノ手段ヲ取リ以
テ交通機關ノ動作ヲ補足スルノ外ナキモノト認ム然シテ今日鐵道運輸ノ方
法中其ノ最著明ナル缺點ヲ舉ケレハ各鐵道間ニ於ケル連絡輸送ノ不便ナル
ニ在リ各鐵道カ恰モ割據ノ姿ヲ爲シテ關門ヲ設ケ貨客ノ往來ヲ滯留セシム
ルニ在リ此ノ不便ヲ除キ此ノ弊風ヲ匡サムトスルニハ大略左ノ方法ニ由
ルヲ要ス

一各鐵道間ニ連絡輸送列車ヲ通行セシムルノ主義ヲ定メ甲鐵道ヨリ乙鐵道
ニ其ノ通行ヲ申込ムトキハ之ヲ拒ム能ハサラシムルコト

一連絡輸送列車ハ線路所有者カ列車ヲ借用スルノ主義ニ由ラスシテ列車所
有者カ線路ヲ借用スルノ主義ニ由ルヘキコト

一連絡輸送列車ノ收入ハ發著手數料ノ外厘數ニ應シ清算スルコト

一連絡輸送列車ヲ通行セシムルニ付必要ナル設備ハ主務省ニ於テ別ニ規則
ヲ設ケ指命スルコト

此ノ大體ニ基ツキ政府ニ於テ法案ヲ具シ成ルヘク當期議會ニ提出セラレム
コトヲ望ム

右建議ス

(菊池武德君登壇)

○菊池武德君(三百三十五番) 本員ガ提出致シマシタル、此鐵道ノ連絡輸送ニ關
スル建議案ノ大體ノ趣意ハ、既ニ諸君ノ御手許ニアル通テアリマスガ、趣意書ノ書方
ノ、少シ簡單ニ十分デアッタコト、ソレカラ其事務柄、聊カ鐵道ノ專門ニ涉ルヤウナ點モア
リマスガ、少シク精明ヲ加ヘテ、諸君ノ御賛成ヲ得タイト思フノデアリマス、此問題
ハ鐵道社會ニ於テハ夙ニ釀シテ居タコトデアリマスケレドモ、ナカ／＼容易ニ實行ノ運
ビニ至ラヌデアリマス、今日ニ於テ鐵道ノ連絡切符發行スルコトヲ、或ハ貨物列車ヲ
直通サセルト云フヤウナ、一部ニ行ハレテ居ルヤウナコトガアルノモ、均シク連絡輸送ノ一法
デハアリマスケレドモ、本員ガ主張セント欲スルコトノモノハ、是等ノ問題デハナイノデア
ル、即チ鐵道ノ全體ノ運輸ノ、根本ノ主義ヲ改メルト云フノガ、本案ノ精神デアリマス
(「簡單々々」モウ分ッタルト呼フ者アリ) ナカ／＼是ハ分ラヌ積リデアリマスガ、私ノ連

絡輸送ト申シマスルノハ、例ヘバ事實ニ就テ申シマスルト、山陽鐵道ノ列車ヲ新橋マ
デ持ッテ來ルヤウニ、又新橋發ノ列車ヲ下ノ關迄持ッテ往クヤウニスル、之ハ山陽ト作業
局トノ間デゴザイマスガ、其他ノ鐵道ニ於テモ成ルベク此主義ヲ以テ、連絡直通ヲヤ
ルト云フノガ目的デアリマス、今日日本ノ鐵道ニハ種々ノ官設モアリ、民設モアリ、
甲ノ鐵道ト乙ノ鐵道ト種々ニ別レテ居ルノデアル、而シテ其鐵道ノ間ニ於テハ各關門ヲ
設ケ、是カラ以上ハ自分ノ線路デアラル、是カラ先ハ他ノ線路デアルト云フヤウナ、恰モ其
線路ヲ自身ガ壟斷シタヤウナ考ヘヨ以テ、營業ヲシテ居ルノデアリマス、鐵道ハ天下ノ公
道デアッテ、一私會社ガ壟斷スベキモノデナイノニ、各關門ヲ設ケテ居ル有様ハ、恰モ昔
ノ諸侯ガ領地ヘ國境ニ關所ヲ設ケテ、其關所ニ於テ通行ノ貨物旅客ヲ檢査シタト同
ジヤウナ譯デ、吾々ハ鐵道ハ幸福ヲ受ケテ居ルカノ如ク見エマスケレドモ、其實昔御關所
ヲ非常ナ手數ヲ經テ、通過シテ居タト云フ、其不幸ト同ジヤウナ有様ニナッテ居ル、之ヲ
英米諸國ニ於ケル、各鐵道ガ幾ツニ岐レテ居テモ同一ノ監理ノ下ニ營業サレテ居ルト
云フヤウニ、頗ル自由ニ運輸交通ガアルトコロノ國カラ見マスレバ、吾々ノ不幸ハ餘程大
ナルモノデアリマス、ソレデ此事ハ今政府アタリデモ、今日ノ現行ノ法律ノ下ニ於テモ、此
等ノ事ハ行ハレルナドト云フヤウナ、大ニ私ノ趣意ヲ誤解シテ居ルモノガアルノデアル、因
テ私ハ此事ヲ事實ニ就テ、説明シタイト思フノデアル、ソレハ御承知ノ通、本年ノ九月二
十九日ノ勅令ニ於テ、鐵道ノ貸借ニ關スル隨意契約ヲ以テ鐵道ノ貸借ヲナスコトヲ得
ト云フ勅令ガ出テ居ル、此勅令ノ結果トシテ、西成鐵道ハ東海鐵道ノ作業局ニ借上ゲラ
レ、サウシテ作業局ノ舞鶴線ハ阪鶴鐵道ニ貸下ケテ居ル、又吳廣島間ノ官設鐵道ガ、
山陽鐵道ニ貸シテアル、此三ツノ事件ヲ生ジタノデアル、所ガ此阪鶴鐵道ト云フモノガ
(「モウ宜イ委員ニ付託シテ御置キナサイ」ト呼フ者アリ) 其阪鶴鐵道ヲ非常ナル損害ヲ
以テ、今日政府ガ不利益ヲシテ、ソレガタメニ其不結果ヲ來シタ源ハ、何カト云フト、根
本的ニ於テ此連絡輸送ト云フコトガ行ハレテ居ラヌカラ、斯ル不利益ヲ來シタノデアリマ
ス、或ハ日本鐵道ニ於ケル、成田總武線ノ如キ、或ハ信越線ノ如キ、殊ニ其事例ヲ舉
テ見マスレバ、其不便ト云フモノハ大シタモノデアル、又獨リ既成線ニ於ケル不便甚シキ
ミナラズ、將來敷設セントスル線路ニ於テモ、此聯絡輸送ト云フ根本ノ主義ガ立タヌタ
メニ、將ニ起ルベキ鐵道ガ、起ルコトガ出來ヌデ居ルノガ、澤山アル、九州ニ於ケル各炭
線鐵道、或ハ北海道ニ於ケル炭線鐵道ノ如キ、此等ノ鐵道ガ連絡輸送ト云フ主義ガ
行レテ居レバ、マダ／＼發達スルノニ、是ガ行ハレテ居ラヌカラ、遂ニ今日マデ發達スベキ
モノガ、發達セズニ居ルノデアル、此事ヲ十分ニ説明スルノハ、委員會ニ讓ルコトニ致シマ
シテ、要スルニ此事ヲ決斷シテヤラウト思ヘバ出來ル、ヤラウト思ヘバ出來ナイト云
フダケノ話デゴザイマスカラ、此決心ヲ定メテ此大體ノ方針ニ依ッテ、鐵道營業ノ面目ヲ
革メルヤウニシタイト云フ考デアリマス、兎ニ角細カイトハ、トデモ此所デ申シタトコロガ
御耳ニハ這入ルマイト思ヒマスカラ、委員會ニ於テ述ベルコトニ致シマス、ドウカ委員付託
ヲ願ヒマス

○恆松隆慶君(百五十九番) 此建議案ハ、十五ノ北海道官設鐵道云々ト云フ法
律案ノ委員ガゴザイマスカラ、此委員ノ方ヘ付託シテ、調査サセテ宜カラウト思ヒマス

○議長(松田正久君) 十六ハハゴザイマスヌカ

○恆松隆慶君(百五十九番) 十五ノ日程デアリマスカラ……

(「贊成々々」ト呼フ者アリ)

○議長(松田正久君) 恆松君ノ勸諭ノ如ク、十五ノ委員ニ付託スルニ異議ハアリマ
セヌカ

第三十一 建議案(松本君平君提出)

〔松本君平君登壇〕

官報號外
明治三十七年十二月二十一日
衆議院議事速記第六號

バルカン半島諸國ト締約シ外交官派遣ニ關スル建議案

係ヨリ、三國同盟が起テ居ルノデアル、巴里條約ニ於テ「コンスタンチノープル」ニ對スル「露國」ノ「バルカン」ノ野ニ力ヲ伸ベントスルヲ抑壓シタノハ、即チ露國ガ「コンスタンチノープル」ノ「サニスラフ」ノ條約ニ對シテ、巴里ニ於テ之ヲ廢棄シタル其時ニ於テ、誠心誠意露國ノ厚意ヲ果サナカッタト云フノハ、露西亞ガ獨逸ニ對スル終世ノ恨デアル、又「オーストラリア」ガ「バルカン」ニ於テ露國ノ勢力ノ南下ヲ恐レ、「スラブ」人種ノ「バルカン」半島ニ勢力ヲ得タルコトヲ恐レ、ノハ「オーストラリア」ガ實ニ非常ナル苦痛ヲ感ズルコトヲ知ル、又伊太利ガ地中海ニ於テ「チニコース」ヲ占領ヨリ、非常ナル打撃ヲ受ケテ、地中海ノ間ニ於テ自國ヲ防ガタメニ、佛蘭西ヲ恐レ、斯ノ如ク一方ニ佛蘭西ノ勢力ヲ恐レ、一方ニ露西亞ノ勢力ヲ恐レ、トコロノ、是等ノ三國ガ同盟ヲ企テタト云フノハ、其歸スルトコロハ「バルカン」半島ニ於ケルコトヲ列國ノ利害關係ヨリ生ジタモノデアリマス、是等ハ東洋問題ヲ解釋スル上ニ就イテ、非常ナル注意ト熟慮ヲ要センケレバナラヌ事柄ト、私ハ信ズルノデアリマス、詰リ歐洲ノ近世ヲ維持スルコトハ、此巴里ノ條約ト云ヒ、若クハ倫敦條約ト云ヒ、若クハ柏林ノ條約ト云ヒ、是等ハ皆列國ノ利害關係ヲ有テ居ルコトヲ重大ナル條約トシ、必ズ其根源ハ「バルカン」半島ニ利害關係ヲ有テ居ルノ「デゴザイマス」、今日ニ於テ日露戰爭ガ開カレタ時ニ於テ、極東ノ形勢ヲ支配スルモノハ、實ニ「バルカン」半島ノ政治上ノ關係デアル、彼ノ三國干渉ガ起タモノハ、偶然ニ「勃然」トシテ東洋ニ於テ起タトコロノ、此三國干渉ハ、決シテ意味ナキトコロノ三國干渉デハナイノデアリマス、其根源ハ「バルカン」半島ニ於ケルコトヲ列國ノ利害關係ヨリ打算セラレタトコロノ「デゴザイマス」、然レバ今日ニ於テ日露戰爭ノ結果ニ對シ、憂フヘキ「恐レベキ」トコロノ列國干渉、又列國ノ利害關係ト云フモノガ、若シ將來ニ於テ起ルベキモノデアッタラバ、必ズ其動力ハ「バルカン」方面ニ於テ起ラナケレバナラヌデアリマス、故ニ我外交家ハ此方面ニ於ケル機會、此方面ニ於ケル注意ハ、一日モ怠ルコトガ出來ナイ事柄デアルト、私ハ信ズルノデアリマス、此「デゴザイマス」東南ニ横タルトコロノ「バルカン」半島ノ地ハ、實ニ世界ノ治亂ヲ屢々惹起シタルトコロノ「デゴザイマス」、永遠ニ數世紀ノ間、此「バルカン」問題ハ世界ノ苦シメ、世界ノ驚シタルモノデアリマス、古ノ希臘人ガ「マラトシ」ノ平原ニ於テ「ハシヤ」人ト、世界ノ覇權ヲ爭ツヨリ、今日ニ至ルマデ殆ド二千年ノ間、此長キ歴史ノ間「バルカン」半島ノ天地ハ、血ノ雨ヲ間斷ナク降ラシタノデアル、間斷ナキトコロノ爭ヒノ原因ハ「バルカン」半島ノ野ニ於テ行ハレタノデアリマス、是ニ於テ東西文明ノ衝突、人種ノ爭、利害ノ爭、權力ノ爭、ト云フモノハ、總テ「歐羅巴」ノ爭ノ原因ト云フモノハ、「バルカン」半島ノ野ニ於テ間斷ナク沸キトシテ蒸發シテ居ルノデアリマス、諸君、是故ニ私ハ「バルカン」半島ハ實ニ世界ノ外交ノ魔窟デアル、世界外交ノ最モ怪シムベキトコロノ原動力デアルト云フコトヲ、申スノ「デゴザイマス」、今ヤ殆ド三國同盟ノ作者タル「ビスマルク」ハ、去テナイノデアリマス、而シテ此三國同盟ヲ作タル「ビスマルク」死シテ、今ヤ三國同盟ハ破レントシテ居ルノデアリマス、埃地地利ハ正ニ國內疲弊シテ力ヲ海外ニ伸ブルコトガ出來ズシテ、一ニ天下事ナカレカシト祈テ居ルノデアリマス、獨逸ハ柏林條約ニ於ケルトコロノ露西亞ノ恨ヲ解カンガタメニ、アラユル力ヲ以テ、アラユル方法ヲ以テ、露西亞ニ媚ビテ居ルノデアアル、露西亞ニ隨從シテ居ル、而シテ伊太利ハ曾テ地中海ニ於テ、佛蘭西ノ侵略ヲ恐レタモノガ、今日ハ正ニ佛蘭西ニ倚テ事ヲサントシテ居ルノデアリマス、三國同盟ハ正ニ解ケントスル此場合ニ於テ、一國同盟ガ漸ク無意味ナル同盟ニナラントシテ居ルノ「デゴザイマス」、正ニ此時ハ外交ノ方面、歐羅巴ニ於ケル外交ハ、雨トナルヤラ、風トナルヤラ、將タ雪トナルヤラ、震トナルヤラ、測ルベカラザルトコロノ現時ノ光景ヲ示シテ居ルノデアリマス、新シキ國力平均問

題、新シキ同盟問題、新シキ合從連衡ノ問題ト云フモノハ、必ズ近キ將來ニ於テ起ラシヌケレバナラヌデアリマス、故ニ「バルカン」半島ノ外交ハ實ニ世界ノ外交ノ樂屋デアアル又世界ノ外交ノ秘密ノ函デアルガ故ニ、此方面ニ於テ何ガ故ニ政府ハ外交ノ施設ヲシナイカ、公使ヲ派遣シナイカ、若クハ通商條約ヲ締結シテ、是等ニ向テ外交ノ準備「設備」ヲ致サヌカト云フコトハ、甚ダ外交ヲ忽セシメテ居ルコト、信ズルノ「デゴザイマス」、是故ニ私ハ世界ノ外交ノ大局ヨリシテ、極東ノ治亂ヲ制シヤウト思フタラバ、又我日本ガ歐羅巴ノ外交ノ機密ニ加テ、東洋ノ治亂ノ上ニ多大ナル外交ノ政策ヲ施サントシタナラバ、今日ニ於テ「バルカン」方面ノ外交ノ施設ヲ完備セシメナケレバナラヌト信ズルノ「デゴザイマス」、我外交ノ一大發展ハ、恐クハ此事ニ依テ成就セラル、コト、信ズルノ「デゴザイマス」、是レ即チ本員ガ聲明ナル諸君ノ贊同ヲ得シタメニ、又歐洲政治ノ大局ニ通ズルトコロノ諸君ニ訴ヘテ、國民ノ聲トシテ、速ニ政府ヲシテ、此方面ニ於ケル外交ヲ全ウセシメンコトヲ、希望スルノ「デゴザイマス」

○恆松隆慶君(百五十九番) 此建議案ハ、九名ノ委員ヲ議長指名ヲ願ヒマス

〔贊成々々〕ト呼フ者アリ

○議長(松田正久君) 恆松君ノ動議ニ贊成ガ「デゴザイマス」ガ

〔贊成々々〕ト呼フ者アリ

○議長(松田正久君) 恆松君ノ動議ノ如ク、本建議案ハ議長指名ノ九名ノ委員ニ付託スルト云フコトニ、御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(松田正久君) 御異議ガナケレバ、其通決定致シマス——議事日程第三十二、三十三、三十四ハ、共ニ請願委員長ノ報告ニ係リマスルガ、併セテ請願委員長ヨリ、之ヲ報告致サレデアリマセウ

第三十二 (特別報告第一號)所得稅法中改正ノ請願 (委員長報告)

第三十三 (特別報告第二號)旱害地租特別免除ノ請願 (委員長報告)

第三十四 (特別報告第三號)葉煙草賣買專業者ノ交付金下附ノ請願 (委員長報告)

〔竹越與三郎君登壇〕

○竹越與三郎君(八十四番) 請願委員ノ報告ヲ申上ゲマス、第一ハ所得稅法中改正ノ義ニ付イテノ請願、是ハ鈴木惣兵衛君ヨリ紹介デアリマス、建議者ハ名古屋商業會議所ノ會頭奥田正番其外八名カラノ請願デアリマス、其趣意ハ所得稅法ノ第三種所得稅ニ付イテノ、調査委員ノ審查ヲ待ツデ、初メテ決定スル譯デアリマスガ、其審查委員ハ郡部市部ヲ通シテ、從來委員ガ出來テ居タノデアリマス、然ルトコロ郡部市部ハ自カラ經濟事情ヲ異ニシマスカラ、郡部ハ郡部ノ審查委員ヲ選ビ、市部ハ市部ノ審查委員ヲ選ビ、審查委員ヲ區別シタイト、斯ウ云フ請願デアリマス、是ハ一應尤ノコトト思ヒマス、イロ／＼相談ヲシテ見マシタガ、採擇スベキコトガ然ルベシト思ヒマシデ、採ルコトニ決定致シマシタ、第二ニ旱害地租特別免除ノ請願、是ハ佐賀縣佐賀郡川上村村長松田茂致ヨリノ請願「デゴザイマス」、紹介議員ハ武富時敏君デアリマス、其趣意ハ此川上村地方ガ、明治三十七年ノ春夏ノ際ニ、非常ナ旱魃デ、百餘日ノ間旱リデアデ、一滴ノ降雨ガナク、爲メニ用水ガ盡キテ、作物ガ枯果デマシタ、是ハ空前ノ旱害デアデ、饑饉ニ瀕スルモノ甚ダ多ク、情態目スルニ忍ビシカラ、速ニ之ヲ救濟シ

テ貸ヒタイ、併ナガラ從來ノ旱害地租及被害地特別免除處分法ニ於テハ、未ダ十分ニ救済スルコトが出来ナイカラ、此事件ノタメニ特別ナル處分法ヲ制定シテ貸ヒタイ、斯ウ云フ請願アリマス、此請願ニ依レバ、尤モナ事情ト思ヒマスカラ、採擇スルコトニ決シマシタ、第三ハ葉煙草賣買專業者交付金下附ノ請願アリマス、是ハ長崎市西濱町十七番平民大津禮太郎外五十七名ノ請願アリマス、紹介者ハ多田作兵衛君アリマス、此請願ハ煙草ヲ國有事業トスルニ付イテ、其タメニ衣食ヲ失シタモノハ、他ノ例ニ於テ多クハ皆交付金若クハ相當ノ事業ヲ以テ得テ居ルノニ、葉煙草賣買專業者ニノミ交付金ヲ下附セザルハ、甚ダ不公平アルカラ、ドウカ交付金ヲ貸ヒタイト云フ請願アリマス、是ハ金ノ掛ルコトアリ、且ハ金ヲ貸ヒタイト云フ請願ハ、如何ニモ困ルコトデアリマスガ、併シナガラ議會ガ一度請願ノ門ヲ開イタル以上ハ、法律ノ改廢若クハ制度ノ變遷ノタメニ、一個人ガ犧牲トナルト云フコトヲ、抛擲スル譯デハイカナイカラ、此變遷ノ際ニ犧牲トナタモノニハ、相當ノ救済ヲヤルハ、國家ノ職分ダト思ヒマスカラ、此問題ヲ採擇スルコトニ決シマシタ

○恆松隆慶君(百五十九番) 唯今葉煙草賣買專業者ニ交付金——成程金ヲ呉レ貰ヒタイト云フノハ、尤モデアリマスガ、併ナガラ煙草製造者ノ權衡ヨリ云フデモ、之ヲ交付金ト認メル以上ハ、巨額ナ金ヲ要スルト思ヒマスカラ、今日斯ウ云フ軍事ノ際ニ、斯様ナコトハ幾ラ金ガ掛デモ、本會ハヤルベキモノデアルト云フコトニ認メナケレバナラヌカ、其邊ハドウ云フ御調査デアリマスカ

○竹越與三郎君(八十四番) ソレハ金ノ高ハ幾ラニスルカ、マダ未決ノ問題デアリマス、或ハ調査ノ上何千ヤラナケレバナラヌカモ知レヌ、或ハ千圓デ濟ムカモ知レマセヌ、ソレハマダ本議ニ掛ラナケレバ分リマセヌ

○坂本金彌君(二百九十番) 唯今ノ件デスガ、交付金ヲ賣買專業者ニヤルト、煙草專業法ヲ改正シナケレバイケナクハナイカ、其邊ハ御調ベデスカ、交付金ノ性質ガサウデナケレバナリマセヌ

○竹越與三郎君(八十四番) ソレハ御質問デスカ——宜シイ、法律マデ往クカト云フコトデスナ、夫ハ無論ノコト、關係スルコトハ悉ク改正シナケレバナリマセヌ

○恆松隆慶君(百五十九番) 唯今委員長ノ報告ノ……

○議長(松田正久君) 唯今委員長ヨリ三十二ヨリ三十四マデ報告ニナリマシタガ、先ツ三十二ヨリ討論ヲ開イテ——決シマス

○恆松隆慶君(百五十九番) 是ハ請願委員長ノ報告通、採擇スルコトニナッテ宜カラウト考ヘマス

(賛成々々「ト呼フ者アリ」)

○議長(松田正久君) 採擇シテ異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(松田正久君) 然ラバ採擇スルコトニ決定致シマス、次ハ第三十三ヲ議題ト致シマス

○恆松隆慶君(百五十九番) 是モ異議ハアリマセヌ

○議長(松田正久君) 諸君ニ御諮リヲ致シマスガ、先ニ議事日程第二十八即チ災害地租免除ニ關スル法律案及第二十九、是モ同様ノ案デアッテ、是ハ委員ニ付託スルコトニナッテ居リマス、サウシテ茲ニ第三十三ノ日程ハ、旱害地租免除ノ請願デアリマス

ガ、先ニ委員ニ付託スルコトニナッテ居リマスレバ、是ハ延期ヲ致シテハ如何カト考ヘマス

○恆松隆慶君(百五十九番) 延期ハ尤デス、同意致シマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(松田正久君) 然ラバ延期ニ決シマス、議事日程第三十四ヲ議題ニ致シマス

○恆松隆慶君(百五十九番) 此問題ハ頗ル重大ナ問題デアルト、余ハ認メルハ笑聲起ルノデアル、成程交付金ヲ呉レ、貰ヒタイト云フ事情ハ、御尤千萬デ幾ラデモ差上タイト云フ同情ハ、表シマスケレドモ、併ナガラ今日ノ際デナカク、斯ウ云フコトヲヤリ出セバ、果デシモナイ、マダ樟腦賣買專業者、又樟腦ノ方デモ、賣買者ガ金ヲ呉レト云フヤウニナリマス、是ハ甚ダ氣ノ毒デアリマスガ、先ツ非常ニ國家大體關係シマスカラ、採擇スベカラザルト云フコトニシテ置キタイ

(「賛成々々」ト呼フ者アリ)

○多田作兵衛君(百三十二番) 私ハ紹介議員トシテ、賛成ノ意見ヲ一應述ベタイト思ヒマス、此葉煙草賣買專業者ト云フモノハ、是マデ政府ガ葉煙草ヲ賣買致シマスニ付イテ、此機關タルモノハ、非常ナ働キヲ爲シテ、此機關ノ御蔭ニ依テ千數百萬圓ノ政府ニ金ガ這入ッテ居ルノデゴザイマス、ソレデ他ノ營業者ト云フモノハ、ソレノ「」交付金ガゴザイマシタケレドモ、獨リ此葉煙草賣買專業者ニ限リテ、マルデ叩キ放シト云フ不幸ニ、今日陷ッテ居ルノデアリマスカラ、ドウカ請願ノ趣旨ヲ御採擇下サレマシテ、此金ノ多少ニ關スルコトハゴザイマス、本院ガ此議ヲ採擇スルコトニナリマシタナラバ、政府ニ於テ相當ナル處置ガアラウト信ジマスル故、ドウカ賛成セラレンコトヲ希望致シマス

(「ノウ」ト呼フ者アリ)

○議長(松田正久君) 發言ノ請求ガナケレバ採決ヲ致シマス、然ラバ委員長ノ報告ニ從ッテ本案ヲ採擇スベシト云フ諸君ハ、起立ヲ請ヒマス

起立者 少數

○議長(松田正久君) 採擇スベシト云フ說ハ少數デアリマスカラ、否決ニ決シマス——是ヨリ報告ヲ致シマス

(書記朗讀)

議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

郡制廢止法律案

提出者 尾見 濱五郎君

所得稅法中改正法律案

提出者 大畑 純次君

楠目玄君ヨリ關稅取締ニ關スル質問主意書ヲ提出セラレタリ

指定セラレタル委員左ノ如シ

實用新案法案

福島美之助君 森 懋君

山田 平太郎君 鞍谷 清慎君

高橋 安爾君 高橋 勝七君

海軍工廠資金會計法案

天野 藤三君 渡邊 修君

安藤 新太郎君 大津 淳一郎君

福富清四郎君 高梨 哲四郎君

坂元 英俊君 星野 仙藏君

山口 熊野君

露病豫防法案

大野久次君

村野常右衛門君

降旗元太郎君

朝倉鐵藏君

南條吉左衛門君

中谷宇平君

古社寺保存法第十六條ニヨリ國庫ヨリ支辨スヘキ金額ニ關スル法律案

北村左吉君

榎本治郎右衛門君

國谷亨君

在外國帝國專管居留地特別會計法中改正法律案

橫井時雄君

初木卿太郎君

小川平吉君

煙草專賣局及製鐵所搬運轉資本補足ニ關スル法律案

中村雄藏君

森重三郎君

安島重三郎君

降旗元太郎君

小河源一君

丹尾賴馬君

明治三十五年法律第四十九號中改正法律案

栗塚省吾君

愛澤寧堅君

荒川五郎君

北海道官設鐵道用品資金會計法廢止法律案外一件

向阪弘君

內藤利八君

菊池武德君

國庫債證券及貯蓄債券ノ利子所得稅免除ニ關スル法律案外一件

宮本嘉樂君

前島元助君

阿部勇治君

郵便貯金法案

神戶松之輔君

菅澤重雄君

三輪信次郎君

水利組合條例中改正法律案

多田作兵衛君

工藤善助君

遠藤良吉君

平島松尾君

淺見竹太郎君

星野長太郎君

武藤金吉君

河原林義雄君

佐藤庫喜君

永見寬二君

米澤紋三郎君

野口源一郎君

藻寄欽五郎君

立川雲平君

長谷川豐吉君

國井康君

大畑純次君

關口安太郎君

橫堀三子君

江藤哲藏君

久保田與四郎君

天野重平君

吉植庄一郎君

澤來太郎君

淺野順平君

櫻井駿君

西村真太郎君

鈴置倉次郎君

景山甚右衛門君

小田文行君

高水龍藏君

海野謙次郎君

青柳信五郎君

東一左右君

清水松三郎君

飯島省三郎君

川島龍藏君

七里清介君

嶺山時善君

根本正君

井上甚太郎君

廣瀨久政君

井上精一郎君

原田越城君

宮部襄君

河上英君

植木元太郎君

大井ト新君

石田貫之助君

竹田千代足君

入江武一郎君

白井哲夫君

恆松隆慶君

中西光三郎君

須見千次郎君

片山正中君

岩本晴之君

川真田德三郎君

長谷部倉藏君

大熊三之助君

矢島中君

望月右內君

佐藤里治君

松井源內君

島山慶三郎君

守屋此助君

米田武八郎君

萩野芳藏君

萩野宜三君

萩野左門君

飯島省三郎君

川島龍藏君

七里清介君

嶺山時善君

根本正君

中林友信君

乾奈良吉君

澤田佐助君

漆昌巖君

竹村良貞君

國井藤之丞君

加瀬禮逸君

城重雄君

西山彰君

大淵龍太郎君

大竹貫一君

西村專太郎君

河井重藏君

築山和一君

重岡薰五郎君

柴四朗君

楠目玄君

關稅取締ニ關スル質問書

矢島彌太郎君

松本君平君

大石熊吉君

石井信君

木下謙次郎君

小山田信藏君

關稅取締ニ關スル質問書

右成規ニ據リ提出候也

明治三十七年十二月二十日

提出者 楠目玄

贊成者 田村順之助

外二十九名

關稅取締ニ關スル質問主意書

政府當局者カ關稅及稅法ノ取締タル往々怠慢不取締ノ結果脫稅者ヲ出シタル其

類例乏シカラス現ニ日本製糖株式會社カ瓜哇ヨリ輸入スル砂糖ノ原料及製精

品ヲ多年不正ナル手段ヲ以テ脫稅シツ、アルハ莫大ノモノニシテ世上之レカ確證ヲ指

摘シテ告發シタル者アリ然ルニ監督官廳ハ之ヲ不問ニ置キ其處分ヲナシタルヲ聞カス

而シテ會社ハ益々不正ナル手段ヲ逞シ晝夜國法ヲ犯シテ私利ヲ計レリ其內容ヲ仔細ニ

觀察セハ一箇年ノ脫稅少クモ一百万圓ヲ下ラスト云フ一會社ニ於テスルモ尙且ツ如

斯況ヤ其他ニ於テオヤ今ヤ軍國多事政府ハ増稅ニ繼クニ増稅ヲ以テシ國民ハ皆ナ

衣食ヲ節シテ軍資ニ供スルノ秋ニ當リ政府當局者ハ之ニ對シテ如何ナル取締ヲナシ

ツ、アルヤ

右質問ニ及候也

○議長(松田正久君) 今議長ヨリ指名シマシタル委員諸君ハ、明日午前十時、本

院ニ參集セラレテ、委員長及理事ノ選舉ヲ行ハレ、直ニ審査ニ著手セラレンコトヲ希望

致シマス、次會ノ議事日程ハ追テ公報ヲ以テ通知致シマス、本日ハ是テ散會致シマス

午後三時三十分散會

衆議院議事速記第五號正誤

頁 段 行 誤 正

六四 上 二二 米及粗 磨(各種)

C1107